

転出者に関するアンケート調査
報 告 書

平成 27 年 8 月

砺 波 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	調査項目.....	1
3	調査対象.....	1
4	調査期間.....	1
5	調査方法.....	1
6	回収結果.....	1
7	報告書のみかた.....	1
II	調査回答者の属性.....	3
III	調査結果の概要.....	5
1	転出前と転出後の状況変化.....	5
2	砺波市での居住について.....	7
3	砺波市の生活の評価.....	13
4	砺波市への愛着.....	24
5	PRすべき地域資源.....	25
6	若者が市外へ流出する理由.....	26
7	自由意見.....	27

I 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

市から転出された方を対象に転出理由や市の、転出者からみた市の生活の評価、今後のまちづくりのアイデア等について調査することにより、総合戦略策定および総合計画の見直しに向けた基礎資料とすることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| (1) 転出前と転出後の状況変化 | (2) 転出理由 |
| (3) 転居にあたり重視した点 | (4) 砺波市の住み心地 |
| (5) 砺波市に戻る意向 | (6) 砺波市の生活の評価 |
| (7) PRすべき地域資源 | (8) 若者が転出する理由 |
| (9) 転入者・定住者を増やすアイデア | (10) 今後のまちづくりに対する自由意見 |

3 調査対象

砺波市から転出後概ね3年以内の人の中から、無作為に500人を抽出

4 調査期間

平成27年6月23日～7月6日

5 調査方法

郵送による配布を行い、回収方法は郵送によるものとインターネットによる回答を併用

6 回収結果

標本数	(A)	500
有効回収数	(B)	150
回収率	(B/A)	30.0%

7 報告書のみかた

- (1) 調査結果は百分率で表示しています。百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出していることから、合計値が100%にならない場合があります。
- (2) 1つの質問に対して2つ以上の回答を求めているものについて、百分率は回答数を本調査の総回答数で割った数値を表しています。
- (3) 図表中に「N」と記してあるのは、分類別各層の対象者総数を表しています。

Ⅱ 調査回答者の属性

調査回答者の属性

1 性別・年齢（単位 上段：件数、下段：％）

	29歳以下	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	計
男性	23 33.8	22 32.4	15 22.1	4 5.9	4 5.9	- -	68 100.0
女性	27 32.9	40 48.8	7 8.5	4 4.9	2 2.4	2 2.4	82 100.0
計	50 33.3	62 41.3	22 14.7	8 5.3	6 4.0	2 1.3	150 100.0

2 転出時の結婚の状況

	件数	%
未婚	57	38.0
既婚	87	58.0
離別・死別	5	3.3
無回答	1	0.7
計	150	100.0

3 転出時の子どもの人数

	件数	%
0人・もしくは無回答	95	63.3
1人	32	21.3
2人	18	12.0
3人	4	2.7
4人以上	1	0.7
計	150	100.0

4 砺波市での住所(地区)

	件数	%
出町	51	34.0
庄下	9	6.0
中野	1	0.7
五鹿屋	6	4.0
東野尻	2	1.3
鷹栖	7	4.7
若林	1	0.7
林	13	8.7
高波	2	1.3
油田	13	8.7
南般若	7	4.7
柳瀬	1	0.7
太田	5	3.3
般若	6	4.0
東般若	5	3.3
梅檀野	2	1.3
梅檀山	0	0.0
東山見	2	1.3
青島	2	1.3
雄神	1	0.7
種田	0	0.0
庄川町(地区不明)	9	6.0
無回答	5	3.3
計	150	100.0

5 現在の住所(都道府県)

	件数	%
富山県内	81	54.0
石川県	9	6.0
東京都	9	6.0
東京近郊	8	5.3
愛知県	7	4.7
愛知近郊	6	4.0
大阪府	4	2.7
大阪近郊	10	6.7
その他中部地区	5	3.3
その他	8	5.3
無回答	3	2.0
計	150	100.0

(県内市町村)

	件数	%
富山市	28	34.6
高岡市	18	22.2
小矢部市	9	11.1
南砺市	20	24.7
射水市	3	3.7
その他県内	2	2.5
無回答	1	1.2
計	81	100.0

Ⅲ 調査結果の概要

調査結果の概要

1 転出前と転出後の状況の変化

(1) 職業

① 雇用形態

図表 1-1 (1) 雇用形態<単数回答>

(単位 上:件数、下:%)

		転出後									
		合計	学生	正規社員・職員	契約社員、派遣社員	自営業	パート・アルバイト	その他	家事専業	無職	無回答
転出前	全体	149 100.0	8 5.4	101 67.8	7 4.7	7 4.7	5 3.4	1 0.7	9 6.0	9 6.0	2 1.3
	学生	16 100.0	6 37.5	10 62.5	-	-	-	-	-	-	-
	正規社員・職員	99 100.0	2 2.0	81 81.8	2 2.0	4 4.0	1 1.0	1 1.0	5 5.1	2 2.0	1 1.0
	契約社員、派遣社員	6 100.0	-	3 50.0	2 33.3	-	-	-	1 16.7	-	-
	自営業	5 100.0	-	2 40.0	-	1 20.0	-	-	-	2 40.0	-
	パート・アルバイト	9 100.0	-	3 33.3	1 11.1	1 11.1	3 33.3	-	-	1 11.1	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家事専業	3 100.0	-	-	-	-	-	-	3 100.0	-	-
	無職	11 100.0	-	2 18.2	2 18.2	1 9.1	1 9.1	-	-	4 36.4	1 9.1

② 業種

図表 1-1 (2) 業種<単数回答>

(単位 上:件数、下:%)

		転出後											
		合計	農林水産業	製造業	建設業	卸小売業	医療・福祉	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	学術研究・専門技術サービス業	不動産・物品賃貸業	公務員・団体職員	その他
転出前	全体	102 100.0	-	29 28.4	6 5.9	7 6.9	16 15.7	4 3.9	11 10.8	8 7.8	-	14 13.7	7 6.9
	農林水産業	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	製造業	29 100.0	-	25 86.2	-	1 3.4	1 3.4	1 3.4	-	1 3.4	-	-	-
	建設業	6 100.0	-	-	4 66.7	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	-
	卸小売業	7 100.0	-	-	-	6 85.7	-	-	-	-	-	1 14.3	-
	医療・福祉	14 100.0	-	-	-	-	12 85.7	-	-	1 7.1	-	1 7.1	-
	宿泊・飲食サービス業	7 100.0	-	1 14.3	1 14.3	-	-	3 42.9	1 14.3	-	-	-	1 14.3
	生活関連サービス業・娯楽業	12 100.0	-	-	-	-	-	-	10 83.3	1 8.3	-	-	1 8.3
	学術研究・専門技術サービス業	5 100.0	-	1 20.0	-	-	-	-	-	4 80.0	-	-	-
	不動産・物品賃貸業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	公務員・団体職員	17 100.0	-	1 5.9	1 5.9	-	2 11.8	-	-	-	-	12 70.6	1 5.9
	その他	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 100.0

(2) 家族構成

図表 1-2 家族構成<単数回答>

(単位 上：件数、下：%)

		転出後						
		合計	一人暮らし	夫婦のみ	親と子 [2世代]	親と子と孫 [3世代]	その他	無回答
転 出 前	全体	150 100.0	37 24.7	38 25.3	59 39.3	12 8.0	4 2.7	- -
	一人暮らし	23 100.0	18 78.3	4 17.4	- -	1 4.3	- -	- -
	夫婦のみ	10 100.0	1 10.0	5 50.0	3 30.0	1 10.0	- -	- -
	親と子[2世代]	81 100.0	11 13.6	18 22.2	44 54.3	5 6.2	3 3.7	- -
	親と子と孫[3世代]	33 100.0	7 21.2	11 33.3	11 33.3	4 12.1	- -	- -
	その他	3 100.0	- -	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -

(3) 住まいの形態

図表 1-3 住まいの形態<単数回答>

(単位 上：件数、下：%)

		転出後							
		合計	持ち家(親 等の所有す る家を含)	借家(ア パート・マン ション)	借家(戸建 て)	社宅	市営住宅・ 公営住宅	その他	無回答
転 出 前	全体	150 100.0	51 34.0	76 50.7	5 3.3	11 7.3	3 2.0	2 1.3	2 1.3
	持ち家(親等の所 有する家を含む)	80 100.0	18 22.5	49 61.3	2 2.5	5 6.3	2 2.5	2 2.5	2 2.5
	借家(アパート・マ ンション)	60 100.0	27 45.0	27 45.0	3 5.0	2 3.3	1 1.7	- -	- -
	借家(戸建て)	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	社宅	6 100.0	2 33.3	- -	- -	4 66.7	- -	- -	- -
	市営住宅・公営住 宅	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

2 砺波市での居住について

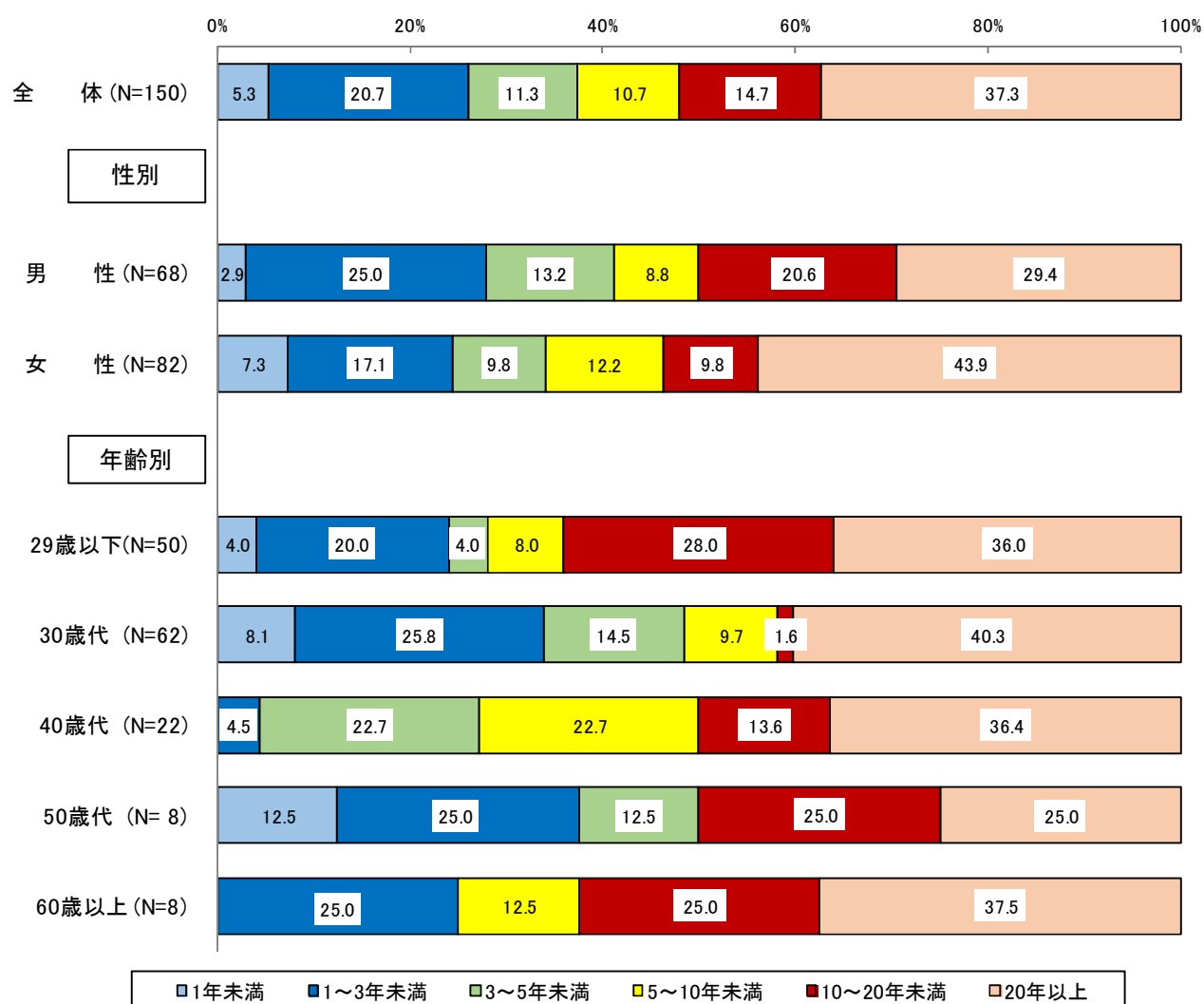
(1) 砺波市での居住期間

砺波市での居住期間についてきいたところ、「1年未満」が5.3%、「1～3年未満」が20.7%、「3～5年未満」が11.3%であり、5年未満が37.3%となっている。一方、「5～10年未満」が10.7%、「10～20年未満」が14.7%、「20年以上」が37.3%となっている。

男女別にみると、女性は「20年以上」が43.9%と男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「30歳代」と「50歳代」で5年未満が約半数と多くなっている。

図表 2-1 砺波市での居住期間<単数回答>



(2) 転出した理由

砺波市から転出した最も大きな理由をきいたところ、「仕事の都合(就職・転勤・転職)のため」が39.3%と最も多く、次いで「結婚のため」が27.3%、「住宅の都合(新築、賃貸など)のため」が9.3%、「進学のため」が8.7%の順となっている。

男女別にみると、男性は「仕事の都合(就職・転勤・転職)のため」が51.5%と多く、女性は「結婚のため」が35.4%と多くなっている。

年代別にみると、「40～50歳代」は「仕事の都合(就職・転勤・転職)のため」が約6割と多くなっている。また、「29歳以下」と「30歳代」で「結婚のため」が他の年代と比べて多くなっている。

居住年数別にみると、「3～5年未満」で「仕事の都合(就職・転勤・転職)のため」が70.6%と多くなっている。また、「20年以上」で「結婚のため」が64.3%と多い。

図表 2-2 砺波市に住みたい理由<単数回答>

(単位：%)

	仕事の都合(就職・転勤・転職)のため	結婚のため	住宅の都合(新築、賃貸など)のため	進学のため	親や子どもなど家族と一緒に住むため	子どもの教育・保育のため	親から独立するため	生活環境に不満があったため	その他	
全体 (N=150)	39.3	27.3	9.3	8.7	6.0	2.7	2.0	2.0	2.7	
性別	男性 (N=68)	51.5	17.6	8.8	10.3	2.9	2.9	1.5	2.9	1.5
	女性 (N=82)	29.3	35.4	9.8	7.3	8.5	2.4	2.4	1.2	3.7
年齢別	29歳以下(N=50)	32.0	28.0	8.0	22.0	4.0	-	2.0	2.0	2.0
	30歳代 (N=62)	37.1	35.5	12.9	3.2	8.1	1.6	1.6	-	-
	40歳代 (N=22)	59.1	13.6	9.1	-	-	9.1	-	4.5	4.5
	50歳代 (N= 8)	62.5	12.5	-	-	-	12.5	12.5	-	-
	60歳以上 (N=8)	25.0	12.5	-	-	25.0	-	-	12.5	25.0
居住年数別	1年未満 (N= 8)	37.5	12.5	25.0	-	25.0	-	-	-	-
	1～3年未満 (N=31)	51.6	6.5	19.4	9.7	6.5	3.2	-	3.2	-
	3～5年未満 (N=17)	70.6	-	11.8	-	5.9	11.8	-	-	-
	5～10年未満 (N=16)	37.5	6.3	18.8	12.5	12.5	-	-	6.3	6.3
	10～20年未満(N=22)	45.5	4.5	4.5	36.4	4.5	4.5	-	-	-
	20年以上 (N=56)	21.4	64.3	-	-	1.8	-	5.4	1.8	5.4

(3) 転居先決定で重視した点

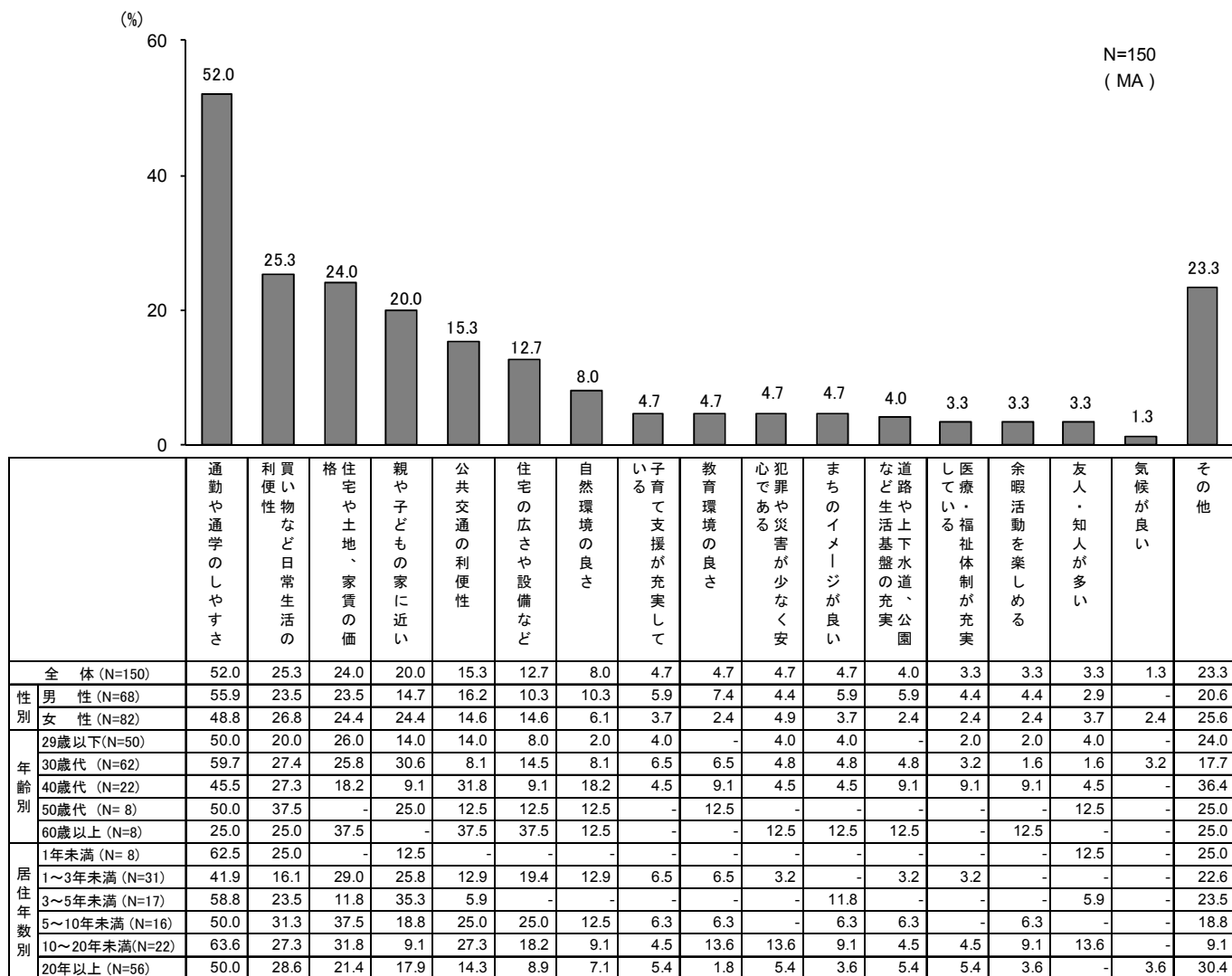
砺波市からの転居先を決めるにあたり重視した点をきいたところ、「通勤や通学のしやすさ」が52.0%と最も多く、次いで「買い物など日常生活の利便性」が25.3%、「住宅や土地、家賃の価格」が24.0%の順となっている。

男女別にみると、女性は「親や子どもの家に近い」が男性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「30歳代」は「親や子どもの家に近い」、「40歳代」は「公共交通の利便性」などが他の年代と比べて多くなっている。

居住年数別にみると、「3～5年未満」で「親や子どもの家に近い」、「5～10年未満」で「住宅や土地、家賃の価格」が他に比べて多くなっている。

図表 2-3 砺波市外に住みたい理由 <複数回答>



(4) 砺波市の住み心地

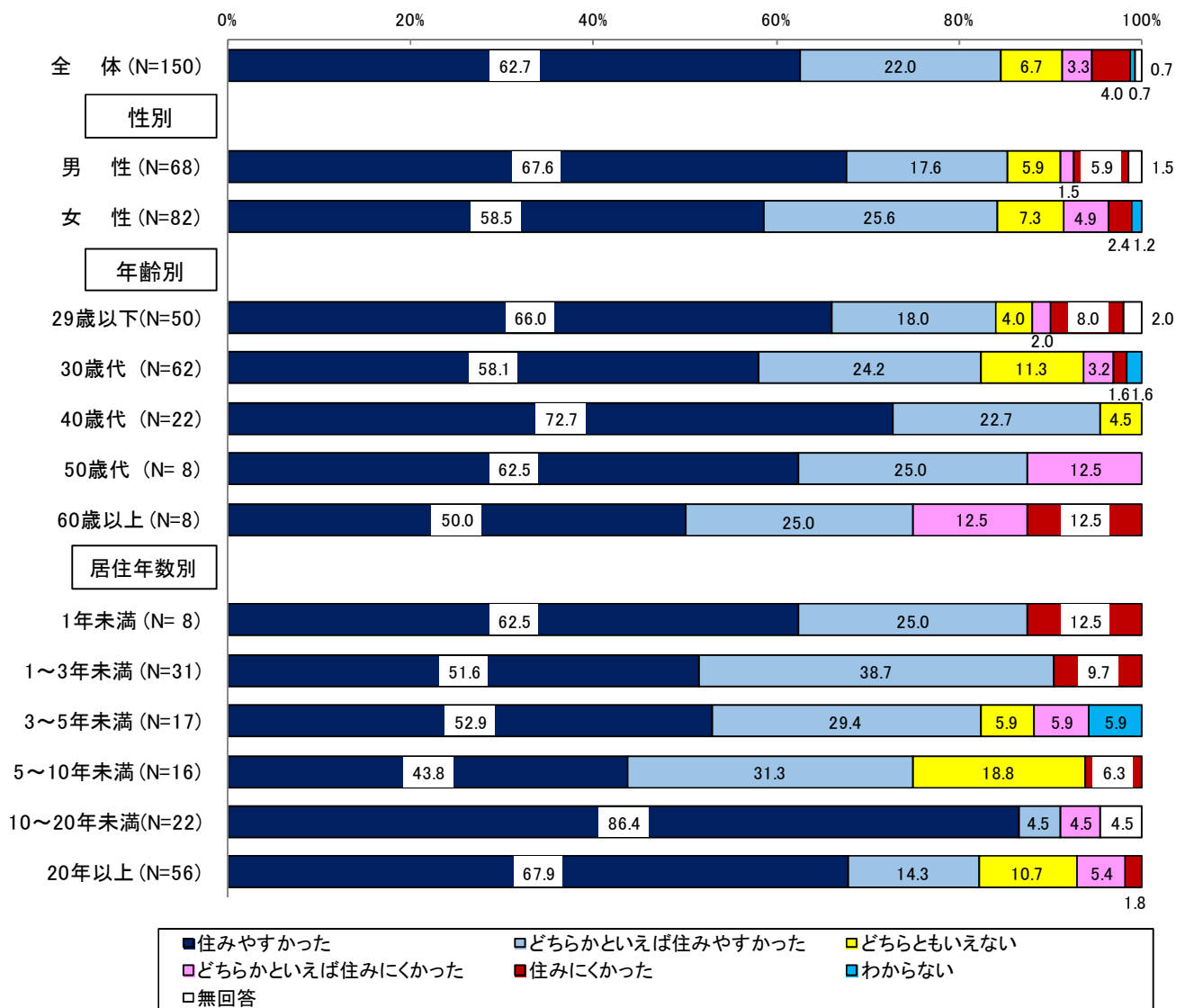
砺波市の住み心地はどうだったかきいたところ、「住みやすかった」が62.7%、「どちらかといえ
ば住みやすかった」が22.0%と、84.7%が住みやすかったとしている。「どちらともいえない」が
6.7%、「どちらかといえば住みにくかった」が3.3%、「住みにくかった」が4.0%と、住みにくか
ったとする人は7.3%となっている。

男女別にみると、男性は「住みやすかった」が67.6%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」は9割以上が住みやすかったとしている。

居住年数別にみると、「5～10年未満」で住みやすかったとする人が75.1%と他に比べて少なくな
っている。

図表 2-4 砺波市の住み心地<単数回答>



(5) 砺波市に戻る意向

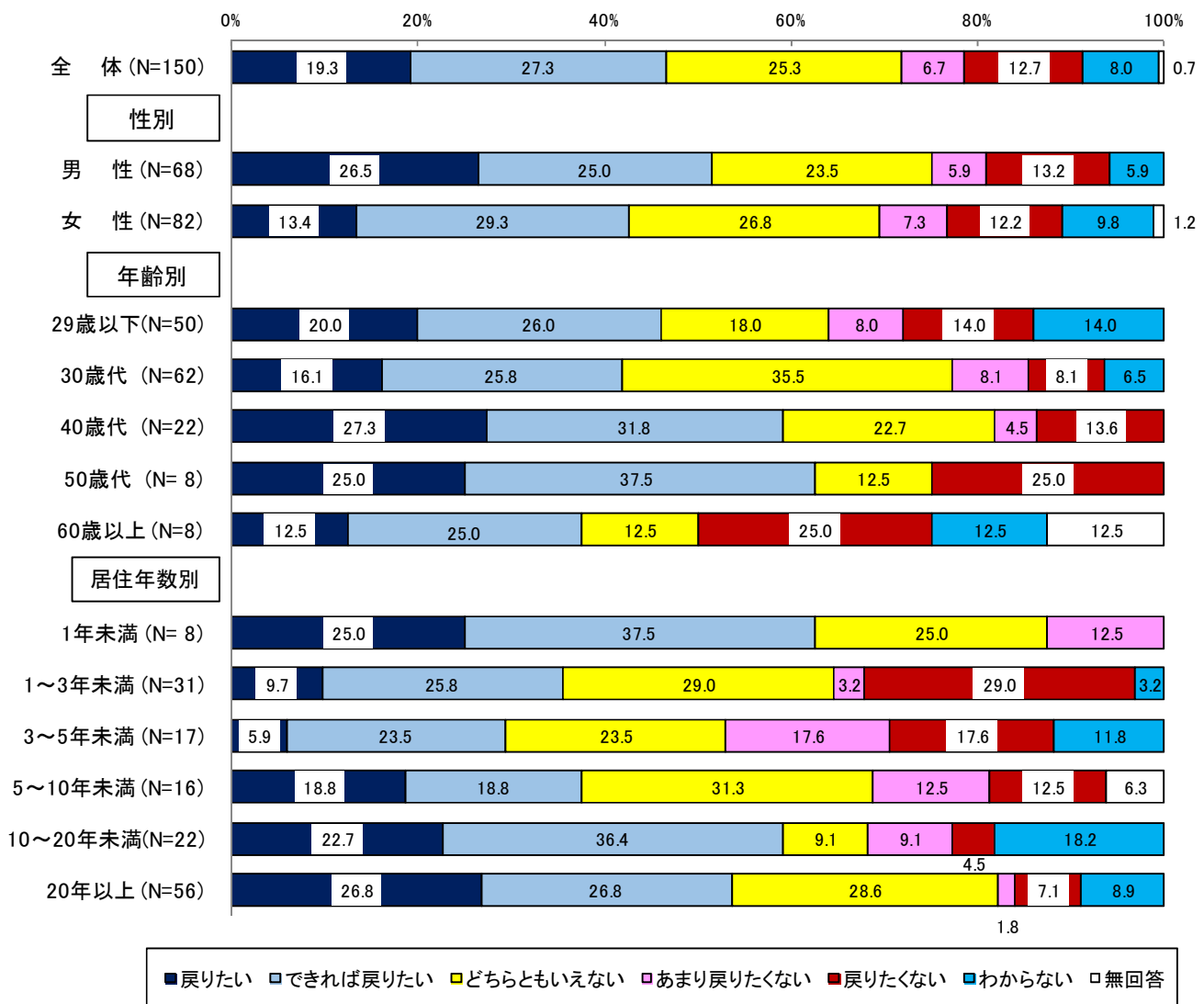
将来、砺波市に戻りたいかきいたところ、「戻りたい」が19.3%、「できれば戻りたい」が27.3%と、46.6%が砺波市に戻りたいと考えている。「どちらともいえない」が25.3%、「あまり戻りたくない」が6.7%、「戻りたくない」が12.7%と、19.4%の人が戻りたくないとしている。

男女別にみると、男性は戻りたいと考えている人が51.5%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40～50歳代」で戻りたいと考えている人が約6割と他の年代に比べて多くなっている。

居住年数別にみると、「1年未満」と「10～20年未満」で戻りたいと考えている人が約6割と多くなっている。一方、「1～3年」は35.5%、「3～5年未満」は29.4%と少なくなっている。

図表 2-5 砺波市に戻る意向<単数回答>



(6) 砺波市に戻るきっかけ

将来砺波市に戻りたいとする70人に、戻るとした場合のきっかけについてきいたところ、「就職・転職」と「退職後」が20.0%と最も多く、次いで「親と同居」が17.1%、「住宅の取得」が15.7%などとなっている。

男女別にみると、男性は「就職・転職」が女性に比べて多く、女性は「住宅の取得」が男性と比べて多くなっている。

年代別にみると、「29歳以下」で「就職・転職」や「住宅の取得」、「40歳代」で「親と同居」が他の年代に比べて多くなっている。

居住年数別にみると、「3～20年未満」で「就職・転職」が多く、「20年以上」で「住宅の取得」が多くなっている。

図表 2-6 砺波市に戻るきっかけ<単数回答>

(単位：%)

		就職・転職	退職後	親と同居	住宅の取得	出産・育児	結婚	子供の就学	その他	無回答
全 体 (N=70)		20.0	20.0	17.1	15.7	5.7	2.9	-	14.3	4.3
性別	男 性 (N=35)	25.7	20.0	14.3	11.4	2.9	2.9	-	17.1	5.7
	女 性 (N=35)	14.3	20.0	20.0	20.0	8.6	2.9	-	11.4	2.9
年齢別	29歳以下(N=23)	26.1	13.0	4.3	21.7	13.0	8.7	-	13.0	-
	30歳代 (N=26)	19.2	23.1	23.1	15.4	3.8	-	-	11.5	3.8
	40歳代 (N=13)	23.1	15.4	38.5	7.7	-	-	-	7.7	7.7
	50歳代 (N= 5)	-	40.0	-	-	-	-	-	40.0	20.0
	60歳以上 (N=3)	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-
居住年数別	1年未満 (N= 5)	-	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-
	1～3年未満 (N=11)	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	-	-	27.3	9.1
	3～5年未満 (N= 5)	60.0	-	-	-	-	-	-	40.0	-
	5～10年未満 (N=6)	33.3	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	16.7
	10～20年未満(N=13)	38.5	23.1	7.7	-	7.7	7.7	-	7.7	7.7
	20年以上 (N=30)	6.7	23.3	20.0	30.0	6.7	3.3	-	10.0	-

3 砺波市の生活の評価

(1) 自然環境

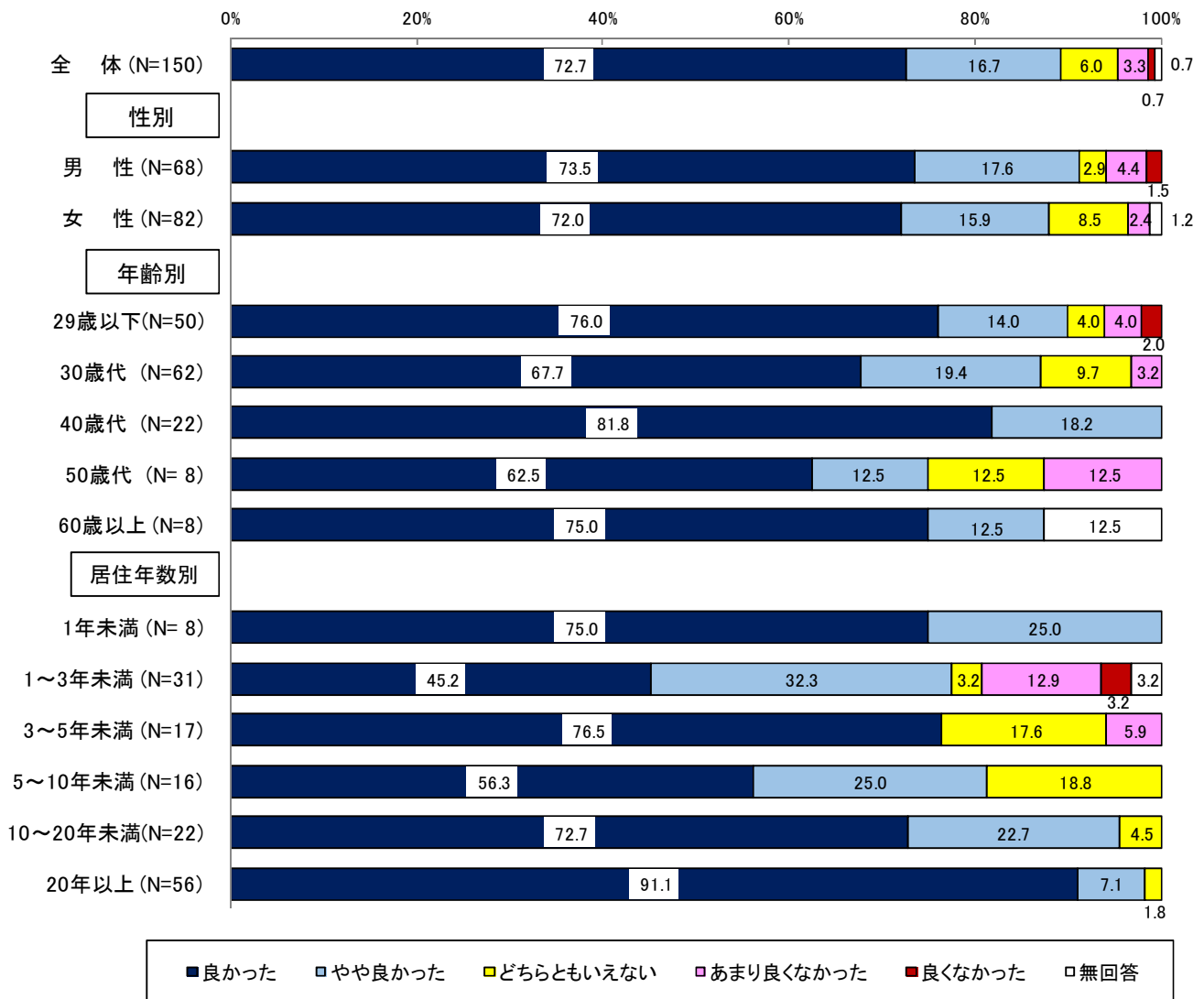
砺波市の生活の評価についてみていく。自然環境の評価については、「良かった」が72.7%、「やや良かった」が16.7%と、約9割が良かったとしている。「どちらともいえない」が6.0%、「あまり良くなかった」が3.3%、「良くなかった」が0.7%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年代別にみると、「40歳代」で「良かった」が81.8%、「やや良かった」が18.2%とすべての人が良かったとしている。

居住年数別にみると、「1年未満」と「20年以上」でほとんどの人が良かったとしている。

図表 3-1 砺波市の生活の評価【自然環境】＜単数回答＞



(2) 買い物の便利さ

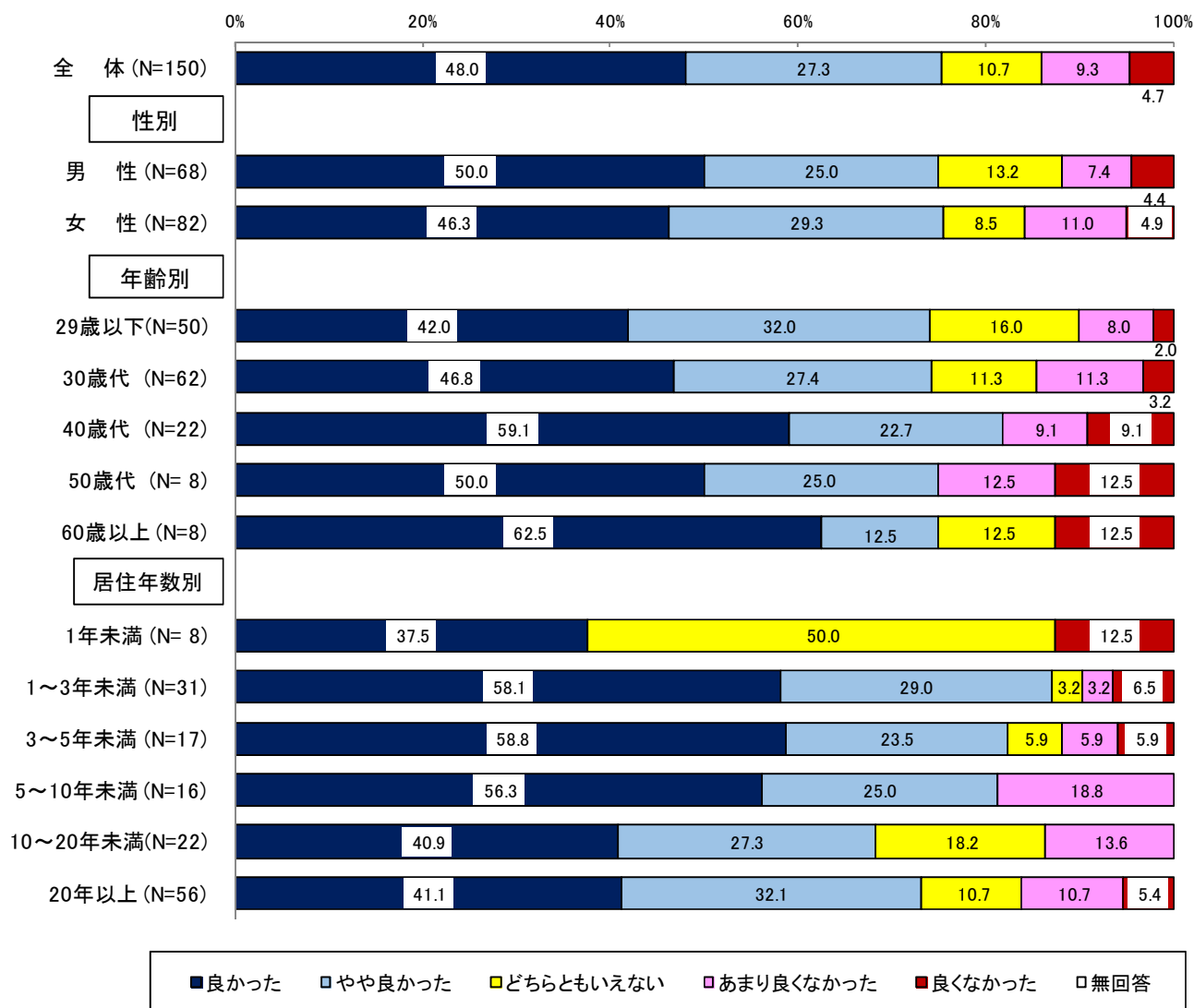
買い物の便利さの評価については、「良かった」が48.0%、「やや良かった」が27.3%と、合わせて75.3%が良かったとしている。「どちらともいえない」が10.7%、「あまり良くなかった」が9.3%、「良くなかった」が4.7%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年代別にみると、「40歳代」で「良かった」が59.1%、「やや良かった」が22.7%と、合わせて81.8%が良かったとしている。

居住年数別にみると、「1～10年未満」で良かったとする人が8割超となっている。

図表 3-2 砺波市の生活の評価【買い物の便利さ】＜単数回答＞



(3) 通勤通学の利便性

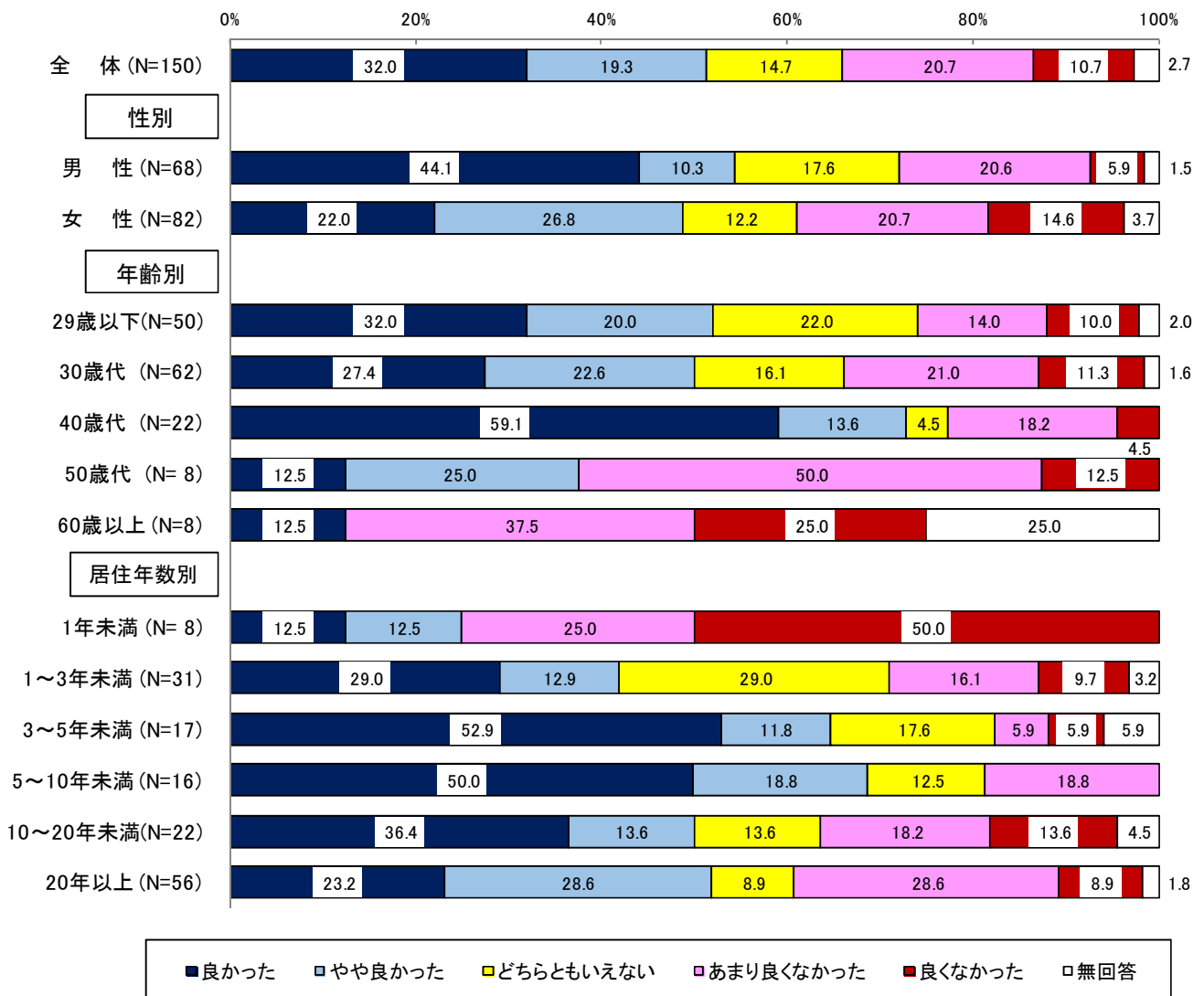
通勤通学の利便性の評価については、「良かった」が32.0%、「やや良かった」が19.3%と、合わせて51.3%が良かったとしている。「どちらともいえない」が14.7%、「あまり良くなかった」が20.7%、「良くなかった」が10.7%と、合わせて31.4%が良くなかったとしている。

男女別にみると、男性は「良かった」が44.1%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で「良かった」が59.1%と他の年代に比べて多くなっている。一方、「50歳代以上」で約6割が良くなかったとしている。

居住年数別にみると、「3～10年未満」で「良かった」が約5割と多くなっているが、「1年未満」が良くなかったとする人が75.0%と多くなっている。

図表 3-3 砺波市の生活の評価【通勤通学の利便性】＜単数回答＞



(4) 子育てのしやすさ

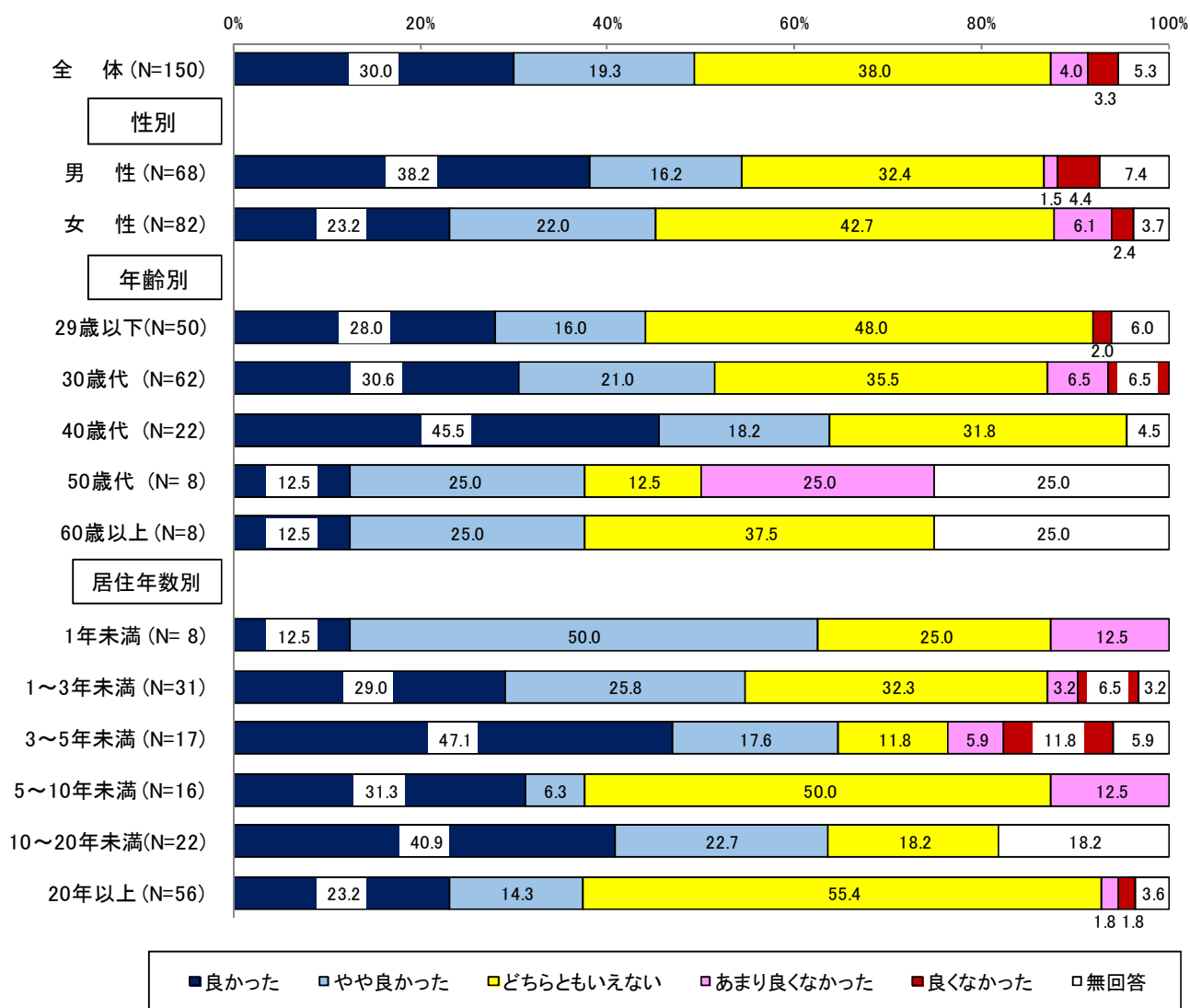
子育てのしやすさの評価については、「良かった」が30.0%、「やや良かった」が19.3%と、合わせて49.3%が良かったとしている。「どちらともいえない」が38.0%、「あまり良くなかった」が4.0%、「良くなかった」が3.3%となっている。

男女別にみると、男性は「良かった」が38.2%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で「良かった」が45.5%と他の年代に比べて多くなっている。

居住年数別にみると、「3～5年未満」で「良かった」が47.1%と他に比べて多い。

図表 3-4 砺波市の生活の評価【子育てのしやすさ】＜単数回答＞



(5) 教育環境

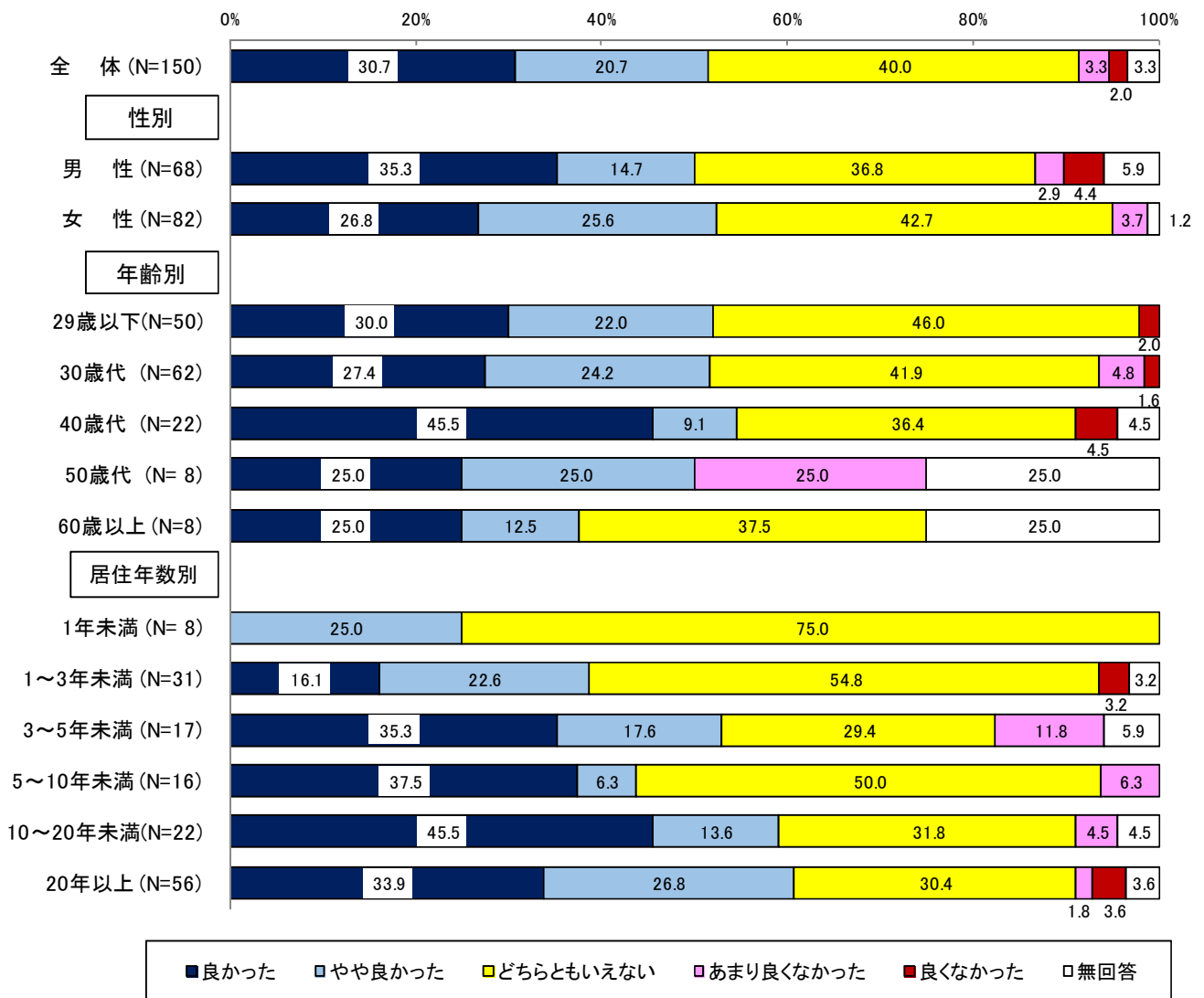
教育環境の評価については、「良かった」が30.7%、「やや良かった」が20.7%と、合わせて51.4%が良かったとしている。「どちらともいえない」が40.0%、「あまり良くなかった」が3.3%、「良くなかった」が2.0%となっている。

男女別にみると、男性は「良かった」が35.3%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で「良かった」が45.5%と他の年代に比べて多くなっている。

居住年数別にみると、「10年以上」で良かったとする人が約6割と他に比べて多い。

図表 3-5 砺波市の生活の評価【教育環境】＜単数回答＞



(6) 病院などの医療体制

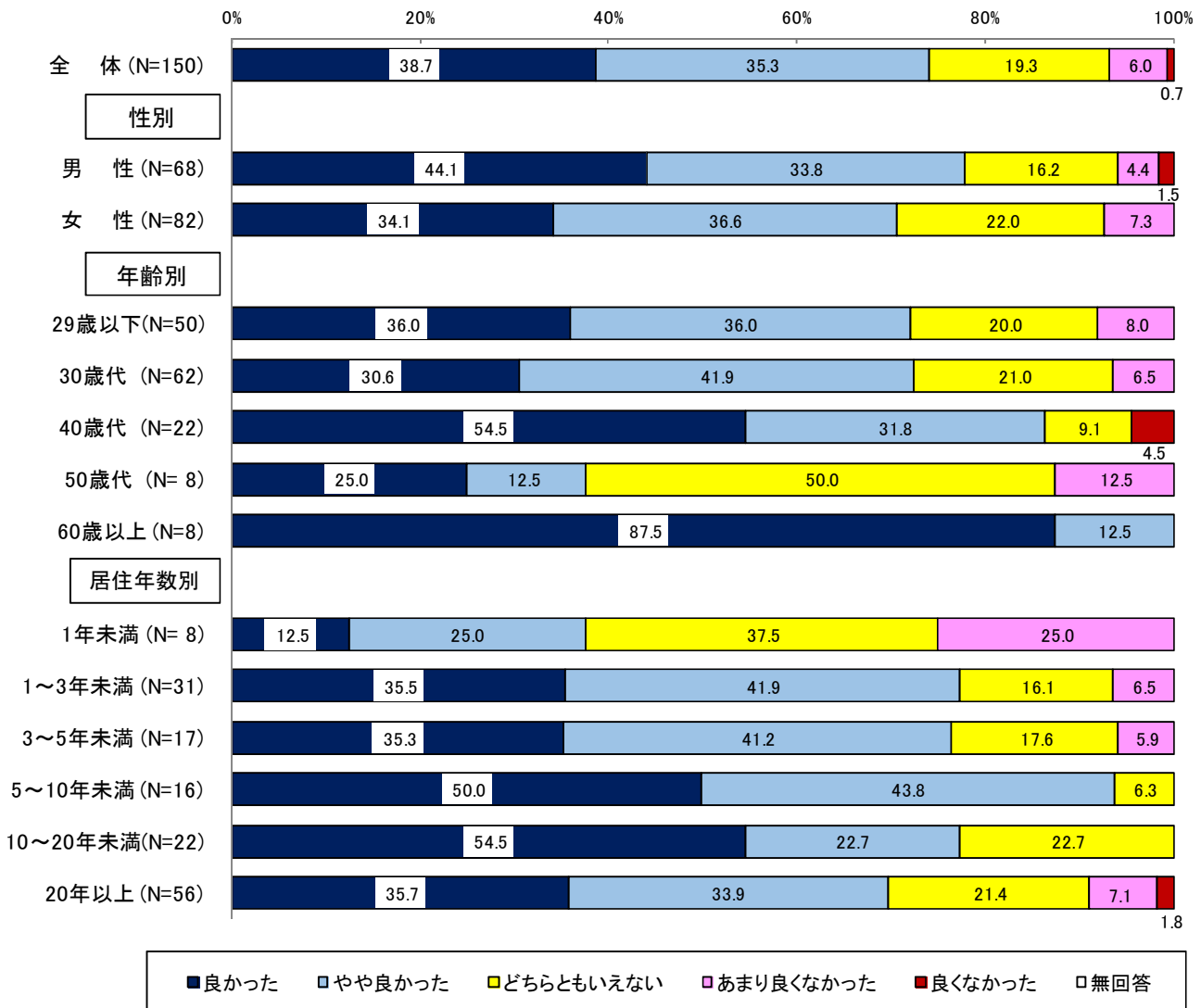
病院などの医療体制の評価については、「良かった」が38.7%、「やや良かった」が35.3%と、合わせて74.0%が良かったとしている。「どちらともいえない」が19.3%、「あまり良くなかった」が6.0%、「良くなかった」が0.7%となっている。

男女別にみると、男性は「良かった」が44.1%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」と「60歳以上」で良かったとする人が約9割と多い。

居住年数別にみると、「5～10年未満」で良かったとする人が93.8%と多くなっている。

図表 3-6 砺波市の生活の評価【病院などの医療体制】＜単数回答＞



(7) 福祉の充実

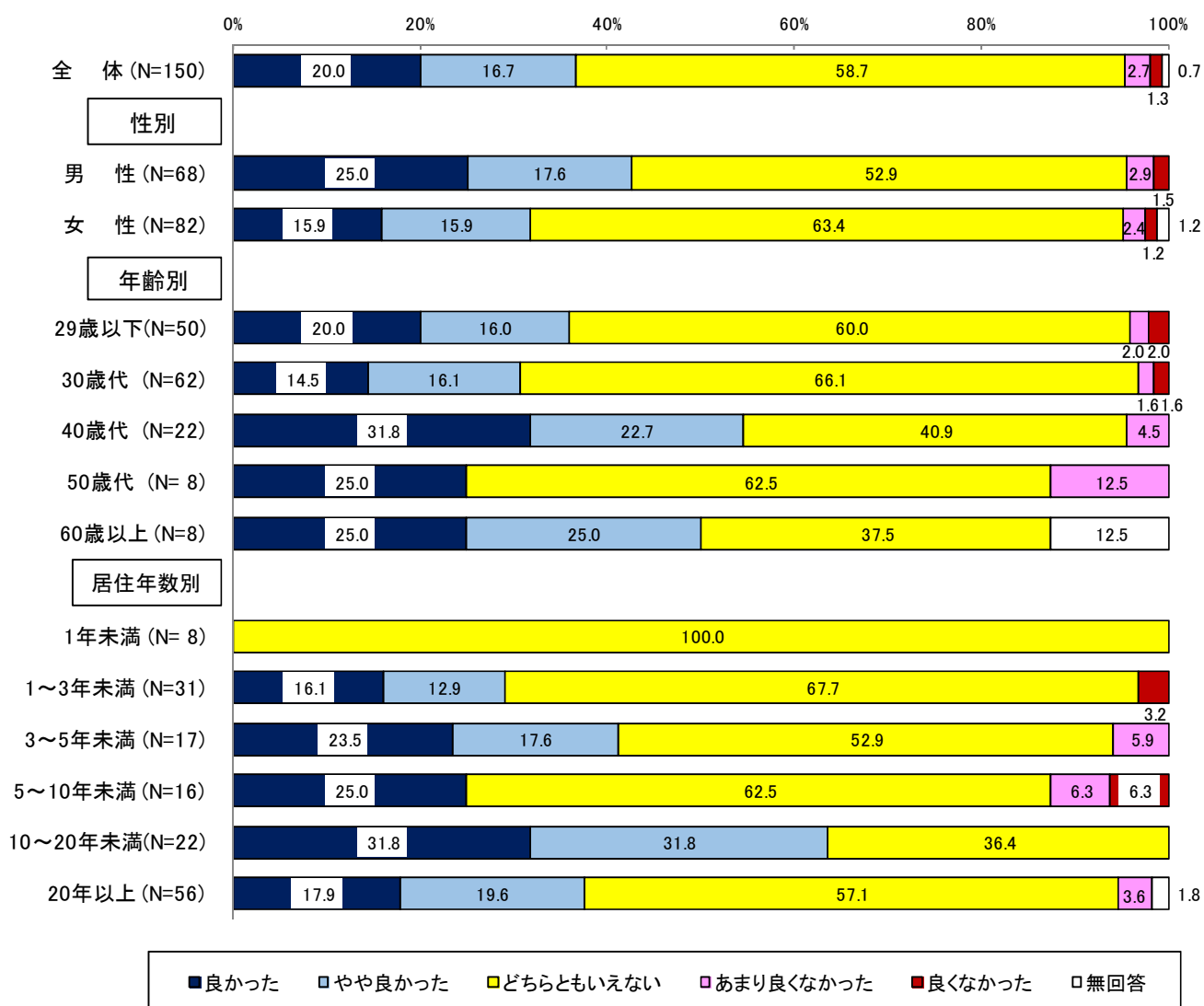
福祉の充実の評価については、「良かった」が20.0%、「やや良かった」が16.7%と、合わせて36.7%が良かったとしている。「どちらともいえない」が58.7%、「あまり良くなかった」が2.7%、「良くなかった」が1.3%となっている。

男女別にみると、男性は良かったとする人が42.6%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で良かったとする人が54.5%と多くなっている。

居住年数別にみると、「10～20年未満」で良かったとする人が63.6%と他に比べて多い。

図表 3-7 砺波市の生活の評価【福祉の充実】＜単数回答＞



(8) 犯罪や災害の安全性

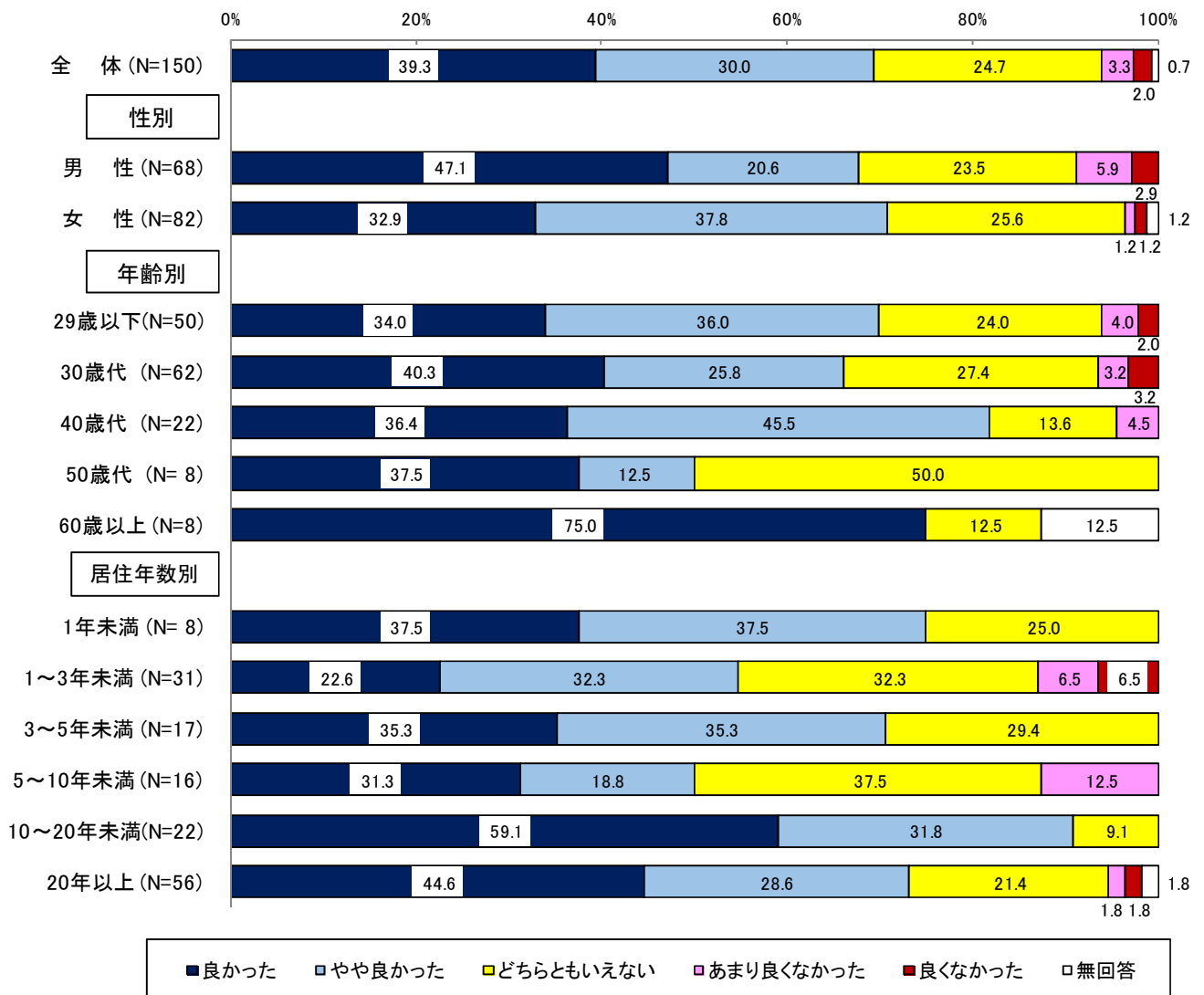
犯罪や災害の安全性の評価については、「良かった」が39.3%、「やや良かった」が30.0%と、合わせて69.3%が良かったとしている。「どちらともいえない」が24.7%、「あまり良くなかった」が3.3%、「良くなかった」が2.0%となっている。

男女別にみると、男性は「良かった」が47.1%と女性に比べて多いが、「良かった」と「やや良かった」を合わせると女性の方がやや多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で良かったとする人が81.9%と多くなっている。

居住年数別にみると、「10～20年未満」で良かったとする人が90.9%と多い。

図表 3-8 砺波市の生活の評価【犯罪や災害の安全性】＜単数回答＞



(9) スポーツや文化の充実

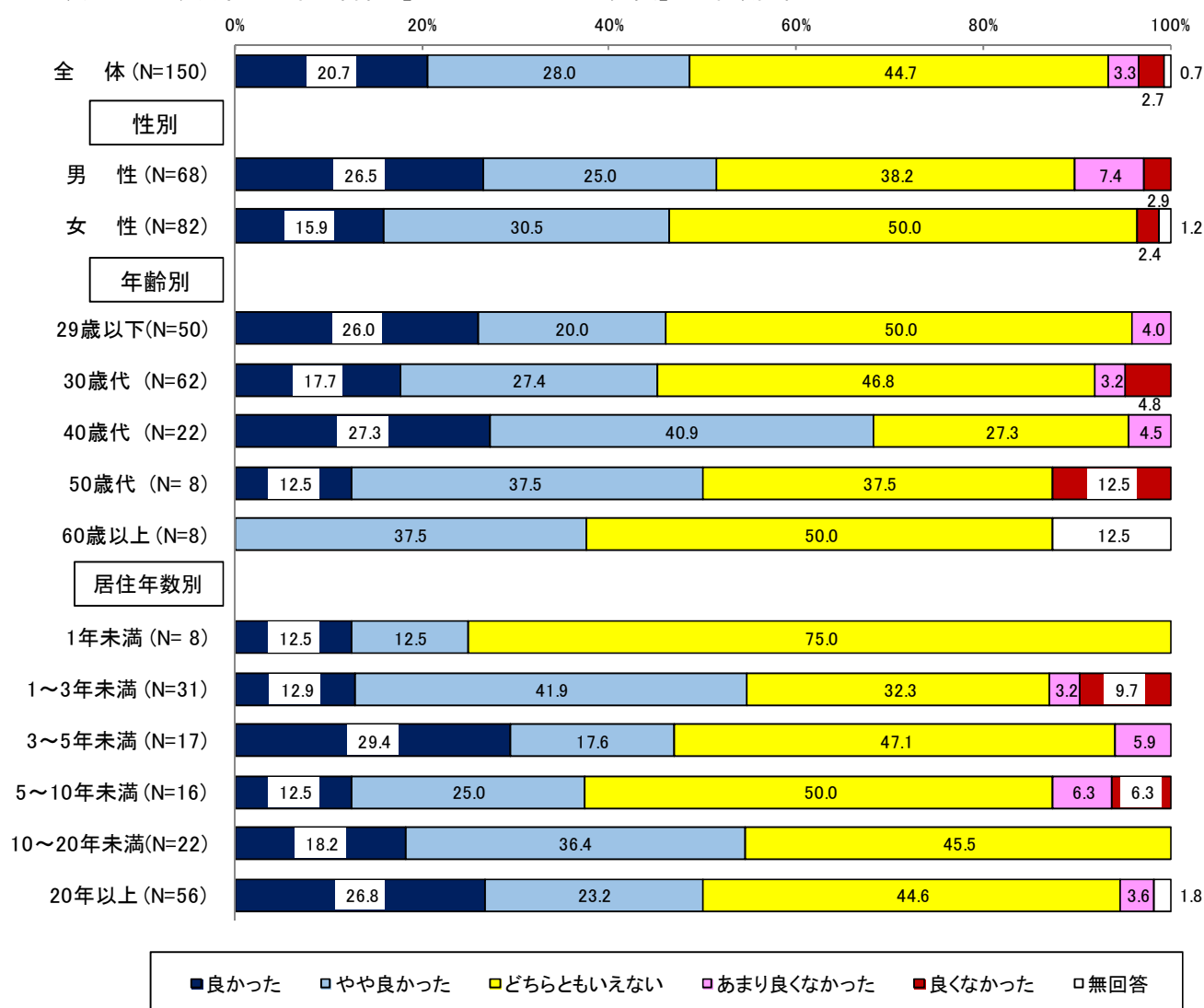
スポーツや文化の充実の評価については、「良かった」が20.7%、「やや良かった」が28.0%と、合わせて48.7%が良かったとしている。「どちらともいえない」が44.7%、「あまり良くなかった」が3.3%、「良くなかった」が2.7%となっている。

男女別にみると、男性は「良かった」が26.5%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で良かったとする人が68.2%と多くなっている。

居住年数別にみると、「1～3年未満」および「10年以上」で良かったとする人が半数以上となっている。

図表 3-9 砺波市の生活の評価【スポーツや文化の充実】＜単数回答＞



(10) 近所づきあい

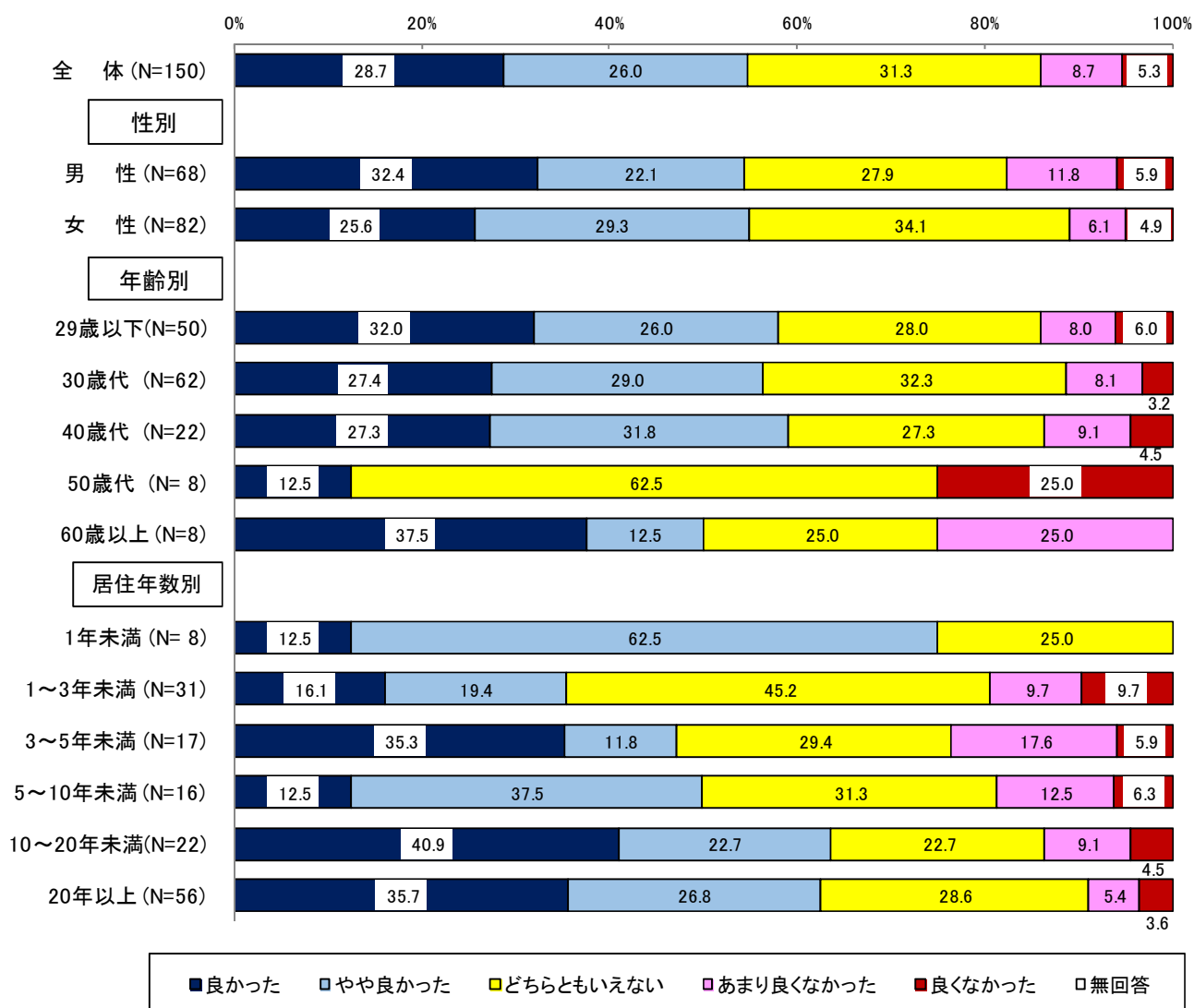
近所づきあいの評価については、「良かった」が28.7%、「やや良かった」が26.0%と、合わせて54.7%が良かったとしている。「どちらともいえない」が31.3%、「あまり良くなかった」が8.7%、「良くなかった」が5.3%となっている。

男女別にみると、男性は「良かった」が32.4%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「50歳代」で良かったとする人が12.5%と少なくなっている。

居住年数別にみると、「1～3年未満」で良かったとする人が35.5%と他に比べて少ない。

図表 3-10 砺波市の生活の評価【近所づきあい】＜単数回答＞



(11) 活気や賑わい

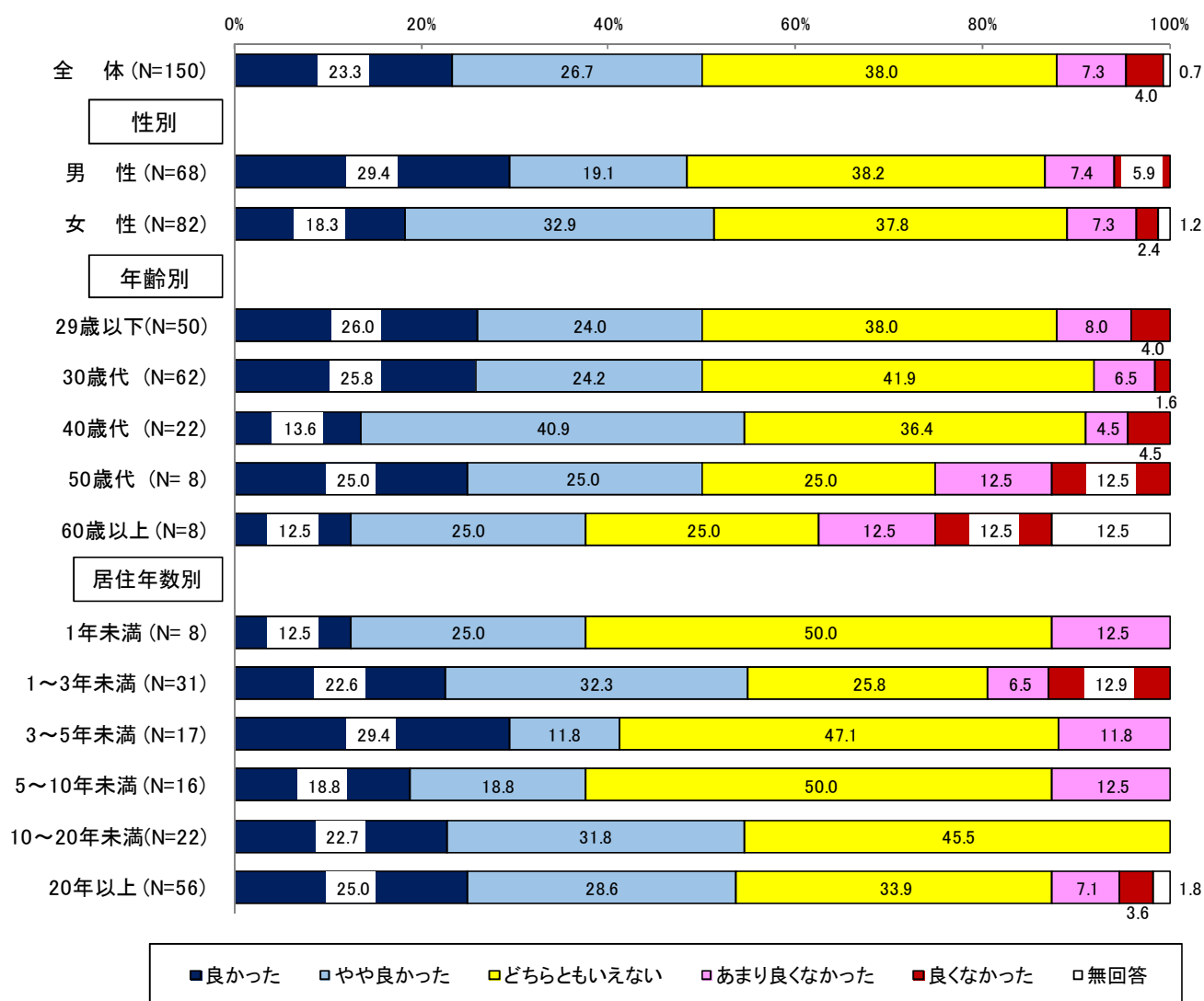
活気や賑わいの評価については、「良かった」が23.3%、「やや良かった」が26.7%と、合わせて50%が良かったとしている。「どちらともいえない」が38.0%、「あまり良くなかった」が7.3%、「良くなかった」が4.0%となっている。

男女別にみると、男性は「良かった」が29.4%と女性に比べて多いが、「良かった」と「やや良かった」を合わせると女性の方がやや多くなっている。

年代別にみると、「60歳以上」を除いて、良かったとする人が約半数となっている。

居住年数別にみると、「1～3年未満」で良かったとする人が54.9%と多いが、良くなかったとする人も19.4%と他に比べて多い。

図表 3-11 砺波市の生活の評価【活気や賑わい】＜単数回答＞



4 砺波市への愛着

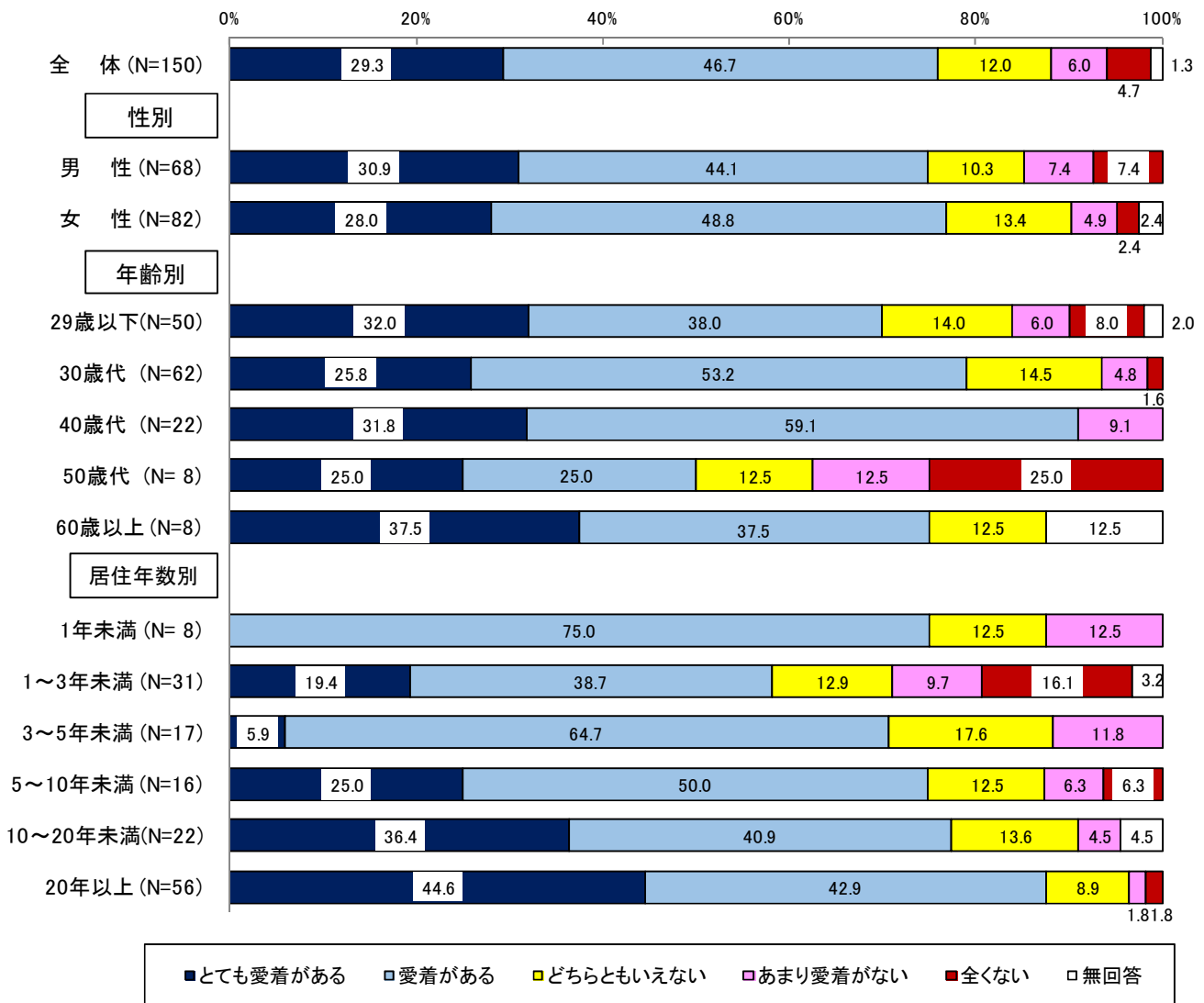
砺波市への愛着があるかどうかきいたところ、「とても愛着がある」が29.3%、「愛着がある」が46.7%と、76.0%が愛着があるとしている。「どちらともいえない」が12.0%、「あまり愛着がない」が6.0%、「全くない」が4.7%となっている。

男女別にみると、愛着がないとする人が14.8%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で愛着がある人は9割超となっている。

居住年数別にみると、「1～3年未満」を除いて居住年数が長いほど愛着がある人が多い傾向にある。

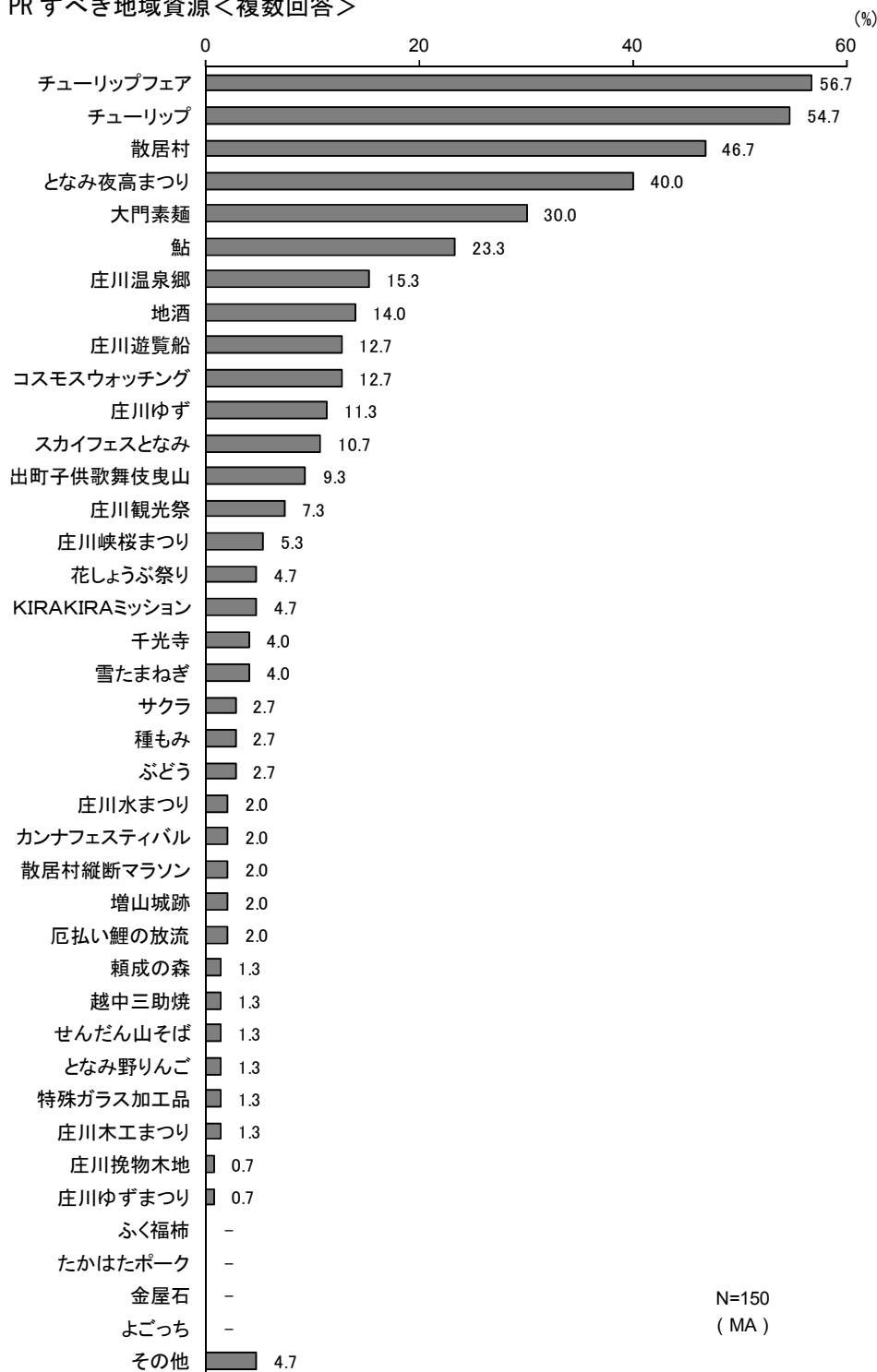
図表4 砺波市への愛着＜単数回答＞



5 PRすべき地域資源

砺波市の地域資源や祭り・イベントで、市外の人に自慢でき、県外に積極的にPRすべき地域資源についてきいたところ、「チューリップフェア」が56.7%と最も多く、次いで「チューリップ」が54.7%、「散居村」が46.7%、「となみ夜高まつり」が40.0%、「大門素麺」が30.0%の順となっている。

図表5 PRすべき地域資源<複数回答>



6 若者が市外へ流出する理由

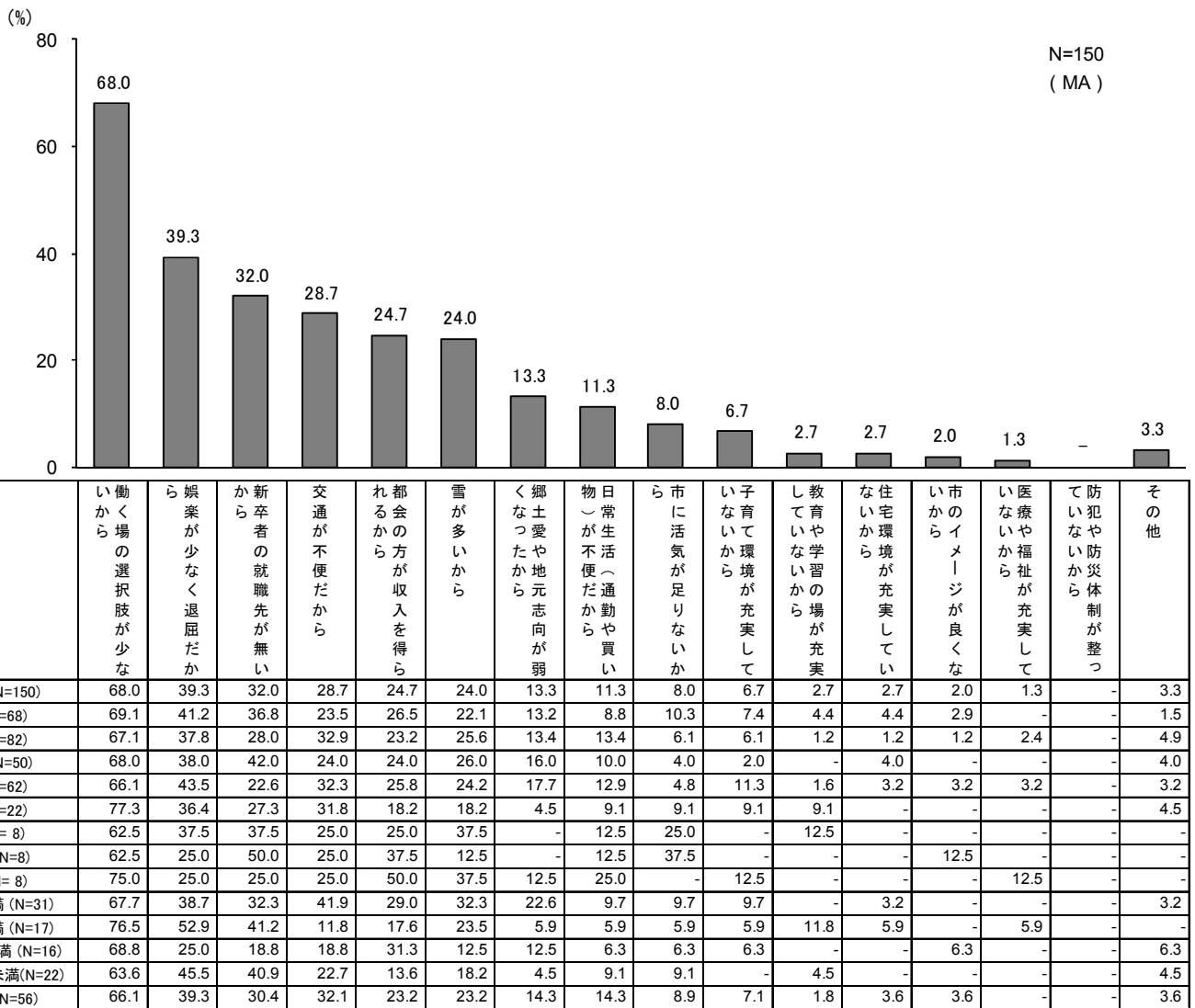
若者が砺波市から出ていく理由についてきいたところ、「働く場の選択肢が少ないから」が68.0%と最も多く、次いで「娯楽が少なく退屈だから」が39.3%、「新卒者の就職先が無いから」が32.0%、「交通の便が不便だから」が28.7%の順となっている

男女別にみると、男性は「新卒者の就職先が無いから」が女性に比べて多く、女性は「交通が不便だから」が男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で「働く場の選択肢が少ないから」が77.3%と多く、「29歳以下」で「新卒者の就職先が無いから」が42.0%と他の年代に比べて多くなっている。

居住年数別にみると、「1～3年未満」で「交通の便が不便だから」、「3～5年未満」で「働く場の選択肢が少ないから」、「娯楽が少なく退屈だから」が他に比べて多くなっている。

図表6 若者が市外へ流出する理由 <複数回答>



7 自由意見

(1) 転入・定住促進のためのアイデア

■子育て支援・教育などについて

女性	29歳以下	子育てに力を入れていることをアピールし、若い夫婦を取り込めば良いと思います。そうになったら自分も砺波市に帰りたい。
女性	30歳～39歳	子育ての環境や医療福祉は充実していないように感じる。働きながら子育てするには不便すぎた。保育園もほとんど公立だからか延長は19時まで。病児保育施設もなかった。小児科も少なく、いつも数時間待ちだった。小さい子どもを連れて遊びに行ける場所もない。子育て支援センターにも行って見たが、乳児を連れていける感じではなかった。2世帯同居や親の助けを借りられる方が多い土地柄かもしれないが、働きながら子育てしやすいまちづくりをしていってほしい。
女性	30歳～39歳	子育ての助成。新婚で砺波へ移り住む人への助成（小矢部市のように）
女性	30歳～39歳	子育て環境の充実
男性	30歳～39歳	共働きしやすい環境づくり、子育て環境の整備。北陸新幹線をもっと利用しやすくする（各駅に駐車場を増やすなど）。
男性	40歳～49歳	働く場の充実。土日でも遊べる子育て支援センター
女性	30歳～39歳	保育園の入園条件の改善。第2子以降の育休中の上の子の保育をしてもらいたい。
女性	30歳～39歳	子育て支援（無料化の拡充）、住宅建築・土地購入の助成・補助、就職先の斡旋、大人・子どもが共に楽しめる施設の無料化。幼稚園・保育園のワンマン経営の排除（オープン教育）
女性	30歳～39歳	子育て環境が良いイメージでアピールすれば、市外県外から転入する人は増えると思います。自然をアピールしたり、安全面や家賃の安さをアピールするのも良いかと思います。転入した人の声をパンフレットやHPで、市外県外の人にも見てもらったり、チューリップフェアの時に映像でアピールして砺波市に興味を持ってもらえると良いと思います。
女性	30歳～39歳	就職先の充実と子育て環境の充実
女性	30歳～39歳	子どもを産んで育てやすいサービスや環境づくり。転入特典として、お金やプレゼントをつける。
男性	30歳～39歳	スーパー園児が育つ幼稚園や保育園があれば、こぞって親は転入してくるでしょう。
男性	30歳～39歳	中学生まで医療費無料。全道路に融雪装置をつける。
男性	40歳～49歳	住民税、教育費（大卒までの直接・間接両方）を無しにする。高齢者の社会保障は無しで良い。（なしでも高齢者は転出しない。子どものUターンが見込める。出生率の高さがすべてを解決する。）
男性	30歳～39歳	街コンを開催する。
女性	29歳以下	義務教育に関わる費用補助
男性	29歳以下	大学をつくる。
男性	29歳以下	小中高での地域教育を充実する。自然や地域コミュニティのつながりなど、都会にはない田舎の良さを育てる。

■産業・雇用・企業誘致などについて

男性	40歳～49歳	企業の積極的な誘致。買い物施設のさらなる誘致
男性	60歳～69歳	企業、大学、専門学校の誘致、老後施設でも良いのでは。城端線の砺波駅停車本数の増便を図り、新高岡や高岡へのアクセスを良くしてほしい。
男性	30歳～39歳	法人税をなくし、企業の本社機能を移転してもらおう。
男性	30歳～39歳	新産業の誘致が不可欠。高付加価値な仕事があれば人は集まる。

男性	40歳～49歳	地元のイベント（祭など）への協力（社員の有給取得がしやすい環境など）を惜しまない企業の誘致。
男性	29歳以下	現在より、さらに娯楽施設を増やし、働ける場所を増やした方が良い。
男性	30歳～39歳	企業誘致や特産品を全国区になるようアピールし、魅力的な雇用を増やすことが大切だと思います。
女性	30歳～39歳	就職先を増やす。空家の安価な購入や借家化。冬場の除雪や通勤の利便性の向上。県外に向けて富山をアピールする。密着しすぎることのない地域交流。
男性	40歳～49歳	仕事の確保
女性	29歳以下	正社員として働ける勤務先の充実
女性	40歳～49歳	就職先を増やす。良い就職先がなかなかない。交通機関が不便。
男性	29歳以下	若者への就職先のPR。学生は大企業から就職先を探す傾向にあるため、大企業より早く地元企業をPRし、知らせる必要がある。 ライフプランニングによる優位性のPR。地元で職に就いた場合と、都会で就いた場合で地元の方が人生が豊かになることを全面的に伝える。
男性	30歳～39歳	若者に魅力のある就職先が少ないと思います。選択できる職種に限られるため、砺波市にはないものを求め県外、他市へ移ってしまっているように思います。観光業以外でも強みのある就職先があれば良いのではないのでしょうか。
女性	30歳～39歳	県外で砺波の求人（人材派遣）を目にするので、社員登用になるよう、企業に協力してもらおう。

■観光・PRの促進、にぎわいの創出、商業の活性化などについて

女性	29歳以下	富山県の良さを知っている人は多く、行ってみたいと憧れている人も多い。しかし、観光地のほとんどは交通が不便で時間と金がかかる。庄川温泉郷がドラマの撮影地となっているが、あまり知られていない。ツアーの充実度とPR不足があげられる。
女性	30歳～39歳	マスコミによる知名度アップ
女性	30歳～39歳	かわいいゆるキャラに変える。
男性	30歳～39歳	小矢部のように宣伝等、PRを頑張ってもらいたい。
男性	30歳～39歳	食文化の発展としてもB級グルメイベントを開いたり、代表的なおいしい食材をよりPRしていく。高岡地区からの人の流れを良くするためにもスマートICと庄川間をバイパス化してほしい。
男性	40歳～49歳	イベントをもっと開催した方が良い。
男性	30歳～39歳	自然が多く残っているので、ウインタースポーツ、夏はキャンプ、アウトドアなど若者が来るイベント等を実施するのも良いかと思います。
女性	29歳以下	まちにもっと賑わいをつくる。商店街を活気づける。
女性	30歳～39歳	中心部や高岡市側は活気があると思うが、庄川など山村地域はすごく活気がない。156号線もそうだが、どんどん寂れ、温度差があるように感じる。山側を充実した方が良いと思う。そうすれば、若者も流れてくると思う。せっかく良いところでも、充実性、活気のないところになるのはもったいない。
男性	29歳以下	アミューズメント性に欠ける部分があるため、若者が都会に移住すると思います。高齢者などの転勤を別として、若者の定住を重視した際、砺波市内で欠けているもの（ファッション店、グルメ、若者に対して好感が持てるイベントなど）を補うことが求められると思います。ライブイベント（有名アーティストを呼ぶ）、砺波市を舞台、テーマとした映画などの映像作品を制作し、砺波市に住んでいると誇れる思いを強く抱かれる対策が必要だと思います。
男性	40歳～49歳	若者が居なければ成り立たない砺波ならではのイベントの立案（県外からの集客を見込めるモノ）と参加者への市からの優遇など。
女性	29歳以下	イオンが新しくなるからうれしい。
女性	30歳～39歳	大型ショッピングセンターを増やす。イオンができることで期待したい。

男性	50歳～59歳	娯楽施設の充実（良く高岡までボウリングやバッティングセンターに行っていた） 城端線の活性化（本数を増やす。駅周辺に娯楽、買い物施設を） 本屋が少ないのは、文化的に低い証明のように思う。
男性	30歳～39歳	県内の他市にないサービス（衣食住）で差別化を図る。交通アクセスの利便性を上げる。
女性	30歳～39歳	西部体育館の公園のように面白いアスレチックがある公園が中心部付近にあるとうれしい。娯楽がとても少ないと感じた。スターバックスやコーヒーショップがあると良い。

■空き家など住宅対策、生活環境、交通などについて

女性	30歳～39歳	空き家の活用。転入者に獅子舞や万雑等、地元の活動を強要しない。幼児、小学校、中学校教育の質の高さをPRする。土地や建物の購入者に助成する。
女性	30歳～39歳	空家を安くリフォームできたら良いと思う。
女性	30歳～39歳	市外から転居して住宅を取得する時の助成金制度があれば良い。
男性	30歳～39歳	持ち家が多いため、賃貸住宅が古いものしかない。
男性	40歳～49歳	住宅の整備と用地取得に対する補助金。転入者の立場からすると、昔からあるコミュニティには入りたくない。
女性	30歳～39歳	小矢部市のような制度があれば魅力的だと思う。子どもの福祉医療費の充実などを図る。
女性	30歳～39歳	小矢部市のように新築した場合などに祝い金を導入する。他の市町村より金額を高めに設定する。
女性	30歳～39歳	小矢部市のように新居を建てたら100万円をプレゼントする。
女性	29歳以下	他市のように、出産新築の際に祝い金や手当を出すなど、住民の負担が少しでも軽くなるようにする。
男性	29歳以下	土地の価格を下げる。
女性	29歳以下	土地を安くする。
女性	30歳～39歳	大東建託系のアパートでなく、家賃を安くし、空き家を活用する。住居兼仕事場の提供。
男性	60歳～69歳	空家を利用して新築住宅を建て、安価で30年以上の居住者にプレゼントする。 南砺市のように婚活を市で進める。娯楽のため、映画館の設置
女性	29歳以下	古民家での宿泊、シェアハウス等。大学からの就職先があれば良い。県外からの学生が住み続けるため。
女性	29歳以下	空家、売地等をもっと紹介、宣伝して、農業や自営ができそうな土地があればそこも紹介する。就職情報も充実させる。
女性	40歳～49歳	在京、在阪の放送局で空き家に住んでもらうようPRしてはどうか（2、3年前、日本テレビで五箇山の合掌造りの空き家に住んでもらうトピックを見たが、そのような形で）
女性	30歳～39歳	田んぼや畑とセットにした居住地の提供。企業誘致（高岡砺波スマートIC周辺）
女性	30歳～39歳	空家（古民家）情報を都市に発信する。
男性	40歳～49歳	住居費、水道費、ガス等を安くする。
男性	29歳以下	富山県は岡山県と比べて曇りや雨が多い。冬は太陽の温かみが少なく、日光が当たれる時間が少なすぎると思った。 特に砺波市はうつ病患者が多いと聞いていて、人工太陽の取り組みが必要と感じた。
女性	50歳～59歳	生活のしやすさをアピールした方が良い。食べ物がおいしく、食品の物価が安いなど。
男性	40歳～49歳	他県でしている「田舎暮らし移住プロジェクト」のようなものがあれば良いのではないかと。すごく田舎というわけでもなく、総合病院もあり、新幹線も開通して首都圏も近くなり、住みやすい場所だと思います。ただ、市民が歓迎ムードになれるか疑問。「よそ者」といわれるのは良い気がしませんでした。

男性	30歳～39歳	税金軽減。農業への転職希望者への強いPR. それらの方への住宅整備、家賃補助、または農地転用しての企業誘致。村社会なので、転入者には住みにくい雰囲気はあると思います。
女性	30歳～39歳	砺波市街への交通手段が車主体なので、高齢者のためにも、もっとコミュニティバスを増やす。
女性	29歳以下	交通の利便性が悪い。電車やバスなどの改善をすれば、砺波市から富山へ通う人なども増えるのでは。特に関西から戻るのが北陸新幹線のせいで大変になった。
男性	30歳～39歳	電車、バスの本数を増やし、通勤通学しやすくする。空家の有効活用。田舎の割に家賃、ガス、水道料金が高いので、もう少し安く住めるようにする。

■市の方向性等

女性	29歳以下	もっと他の土地の人に対して開放的になるべき。開発ばかりせず、田舎の良さを捨てないでほしい。散居村を大事にしてほしい。
女性	30歳～39歳	少し人に干渉しすぎると感じる。
女性	29歳以下	南砺市に転居して思ったのは、砺波より活気があり、チームワークが良いこと。今いる若者を中心に砺波市を盛り上げるイベント等を定着させて、イメージアップを図ればどうか。
男性	40歳～49歳	金沢市、富山市、高岡市のベッドタウンとなる。大きな娯楽施設などなくても良いのではないか。小さな綺麗な公園がたくさんあり、とても素敵なまちでした。散居村も残し、新興住宅地も整った今以上にきれいな街並みが見たい。
男性	50歳～59歳	15年ほど砺波市に住んでいたが、転入者を増やすことは同時に砺波らしさを減らすことを意味していると思う。人を増やすより、市としてどんな将来像を持っているかで決まると思います。砺波は便利になってきたと思うが、良さがなくなってきていると感じる。
女性	29歳以下	帰宅するたび新たな商業施設を見るが、他の地方都市と同じ良くある地方の風景になっていて寂しい。実際に住んでいる人のことを思うとこうなるのでしょうか。
女性	60歳～69歳	几帳面できれい好き、集落の奥に入ってもしっかりとした佇まい、とても素晴らしいことだと思います。今住んでいるところは受け継がれた文化を伝統の誇らしいまちですが、近くのスーパーの印象はちょっと汚いと感じます。並んでいるものも食文化を誇るまちにしては意外なものでした。それでも人はやさしいです。私もずいぶん教えてもらい助けられました。このおっとり感がほんのわずかプラスされたら最強の住みたい市になるように思います。
女性	30歳～39歳	若者の意見を聞いて、取り入れる
男性	60歳～69歳	市の職員の親方日の丸的な目線を改める。もっと地元の人々の目線になるよう。

(2) 砺波市のまちづくりに対する意見等

■住環境や生活環境、交通などについて

男性	40歳～49歳	官公庁、商業施設がまとまっていて、とてもコンパクトで働きやすいまちでした。
女性	30歳～39歳	環境はとても住みやすく良いところだと思うので、綺麗なまちづくりを心掛けると良いと思います。チューリップ公園はとても素敵だと思います。
男性	50歳～59歳	散居村（田んぼのある風景）をどのように維持していくかがポイントかと思います。残すのではなく、残っていく施策
女性	29歳以下	散居村はやはり大切にしていってほしい。建築まちづくりの仕事をしているが、散居村の文化的価値は本当に高いし、私の中で一番の誇りです。シェアハウスやシングルマザーが集って住む家、文化の発信地、新たなライフスタイルなど散居村でしかできないあり方があると思います。今はまだ具体的な案は出せませんが、そういう暮らし方が充実すれば商業施設に頼らずとも魅力的な砺波市になると思います。いつも同郷の建築関係者とこの話をしています。どうか素敵なまちになりますように。
男性	30歳～39歳	砺波市の散居村は夕日も美しく、全国に誇れる価値ある景観だと思います。農業の高齢化が進む中、これからも散居村の美しい景観が保たれるよう行政の取組を願っています。
男性	40歳～49歳	美しい街でとても住み心地が良かったです。ありがとうございました。
男性	40歳～49歳	落ち着いた良いまちだと思っています。観光（チューリップフェア、夜高まつり）に行きたいと思っています。
男性	60歳～69歳	下水道工事後の道路の不整備で悪路になっているので整備が必要。土地改良区と用水の万雑が市内統一されていない、矛盾点がある。小学校の授業参観時に車社会なのに駐車場が整備されていない。豪雪時に屋根雪下ろし協力隊の組織が必要である。
女性	30歳～39歳	今後発展していくにつれての治安が心配。
女性	30歳～39歳	子供の安全を考慮し、R156の横断歩道を地下道又は歩道橋への更新（事故が多発していたため）。各公共施設への無料バスの運営。
女性	30歳～39歳	資源ごみも可燃、不燃と同様に自宅近くのごみステーションに出せると便利だと思いました。小学校までがとても遠く、通学路に歩道が無い箇所もあり不便でした。
女性	30歳～39歳	ゴミの集荷日が少ないと感じた。プラスチックは週1回、紙も月1回は出せたらよいと思う。
男性	29歳以下	車がなくても、観光地等に訪れやすくするアクセスの充実化。 幹線道路からみた時、思わず寄りたくなる、または8号線からそれたくなるようなまちづくり。外見の良さと、まち1つが一体となって見た目として寄りたいたいと思えるまちにすること。
女性	30歳～39歳	住宅街が増え、散居村が一部となり寂しい。砺波市に限らず、富山県は車社会なので、交通の便が良くなると住みやすいと思う。子育てに力を入れているが、年配の方にもやさしいまちになると、よりよいと思う。
女性	30歳～39歳	新幹線を大阪方面にもつなげ、短時間で移動できる環境づくり
女性	40歳～49歳	中心地は住みやすいと思うが、中心から交通の便が不便だったり、雪が大変だったりするので、もう少し交通手段があれば住みやすいと思う。
男性	60歳～69歳	砺波駅前の再開発。商業施設、娯楽遊技場の誘致、駐車場、バスターミナルなど。市役所や公共機関を駅前に集中し、利便性を高める。

■観光やPRの促進、にぎわいづくりなどについて

女性	30歳～39歳	今年の花しょうぶ祭りについて、関東でも特集されており、スケールのわりに無料で楽しめる点がクローズアップされていた。好印象であった。
男性	50歳～59歳	砺波ロイヤルホテルと連携していろいろな企画を実施できれば良い。
男性	30歳～39歳	北陸新幹線の恩恵が金沢に集中している。サンダーバードも金沢止まりになっているので、金沢－砺波間の高速度バスの便数の強化とお得な価格設定、山中温泉のような主な観光拠点やホテルまでのループバスの用意、車でなくても観光できるようにする。

男性	30歳～39歳	砺波の自然、特産品、北陸新幹線などをうまくアピールして、市自体の活気をもっと上げると良い市になると思います。また、映画、音楽、テレビなど芸術をもっと砺波で実施してもらい、観光客をもっと増やすことも必要だと思います。
男性	30歳～39歳	黄色の小麦畑の中を自転車で走るのが気持ちよかった。散居村もあり、ヨーロッパのようなので、道路の整備などがあると、人が集まると思います。
女性	30歳～39歳	間10の地域資源等で、知らないものがたくさんあったので、市内でももっとPRをした方がよいのではないのでしょうか。
男性	30歳～39歳	まずは県内で一番になれるもの、特産、祭り等を決めて県内に広める。例えばとなみポーク、タマネギ等の特産を活かした料理。祭りのアピール方法。チューリップフェア、夜高祭。確実に県内の他の曳山祭に夜高は勝っているはずなのに、知名度が低すぎると思う。
女性	29歳以下	県外でも遠くに引っ越してみても、出身地を聞かれて答えると「チューリップ」のイメージが強く、それだけという印象を持たれているようです。住みやすいなど、他のもののPRが必要である。
女性	30歳～39歳	全国に知ってもらえるよう、イベントの宣伝や住みやすさのアピールを。
男性	40歳～49歳	砺波に住んで初めて、子供歌舞伎や夜高祭の存在を知りました。もっと県外へPRした方が良いように思います。 散居村（古民家、防風林）は魅力的な資源です。近代的な住みやすいまちづくりも大事ですが、昔からの街並みを残す努力もお願いします。砺波駅前、綺麗に整備されていますが、魅力を感じるものではありませんでした。フラッと立ち寄って、ボケっとできるような富山市のスタバのような場所があると良いですね。もちろん砺波にしかないもので。
男性	30歳～39歳	特産品（B級グルメ）が弱い。玉ねぎをアピールしたいのなら、変わった食べ方や玉ねぎがメインになる料理を考案する。ゆるキャラ改革、チューリ君やリップちゃんだと、どこの県のどこの地方かわからない。「1073（となみ）」を使ったゆるキャラ考案。
女性	40歳～49歳	間10であげたものは、いずれも関西でも有名であり、大門素麺はデパートやスーパーでも売っているので、もっとPRしていけば良いのではないかと。砺波に戻ってこないのは、年配の方をはじめとする人々の価値観が保守的なものもあるのではないかと。
女性	30歳～39歳	市民同士が交流できるイベントを増やせば転入者も早く地域になじみやすいし、高齢者や障害者も含め、人と人がつながれるイベントがあればボランティアに興味をもつ若い人も出てくると思います。出会いの場にもなり、結婚率も上がると思います。若い人が集まるように芸人やアーティスト、よさこいを呼んだりすれば良いと思います。
女性	50歳～59歳	小中高生の参加できる気軽なイベントなど色々なイベントで、皆が参加できる場所があれば良いと思う。選択肢が少ないため、子どもの特長を伸ばしにくい。
女性	29歳以下	同じ砺波市内でも住んでいる場所によるかもしれないが、南砺市に比べて冷たい気がする。気軽に周りの人と関わられるような楽しいイベントがほしい。もしイベントがすでにたくさんあるとしたら、アピールが下手だと思います。チューリップ朝市もいまいち活気が足りない。内容が偏りすぎて、もったいないと思います。今後の進化に期待します。
女性	30歳～39歳	国道156号線あたりに活気がないので、なんとかしたほうが良い。

■産業・雇用などについて

女性	40歳～49歳	企業の活発化。子ども、老人に関わらず、補助制度の充実。
男性	29歳以下	砺波市はとても住みよい市です。働ける場所がもっと増えれば、人は定住してくれると思います。
男性	40歳～49歳	農業以外の産業は必要ない。他市・他県へ通勤すれば良い。ただしそのためには通勤費の全額補助が必要。子育て、教育の充実と費用負担を無しにする。他の保障は大幅に削減し、バランスをとる。住民税、ライフライン費を負担なしにする。

■市の方向性や地域性などについて

男性	30歳～39歳	商業施設は増えてきたが、それらの潜在的な需要が満たされるか不安があるので、早急な宅地の誘致や市からの補助が出るよう働きかけをお願いします。残念ながら今の政府ではパイの奪い合いが生じる。魅力ある砺波市となることを期待します。
女性	30歳～39歳	どこのスーパーでもおなかが大きい時や赤ちゃんを連れていたら、カゴを台まで運んでくれたり詰めたりしてくれてとても優しい街で大好きでした。他の市ではない心遣いです。コンパクトで何でも買いに行ける街で好きでした。
女性	29歳以下	砺波を出てしまいましたが、今でも砺波が大好きです。いずれ戻ってこられたらと思いますので、これからも砺波の発展が続いていくよう応援しています。むしろ今のままでも良いくらいです。
男性	29歳以下	「住みやすい」という強みが砺波市にあるので、プラスアルファとして、アミューズメント性を取り入れたまちづくりを提案します。高齢者に関しては、その面を求めているかもしれませんが、若者の大部分は求める人が多いと思います。「田舎だから何もない」という印象を「田舎でもこれがある、自慢できる、住んでいて特に不満はない」と思われるために、例えばチューリップフェアを全国が注目するイベントにすれば、誇れるものになると考えます（ライブイベント、ご当地グルメ導入など）。
女性	29歳以下	あまり他県からの移住が増えると県民性が変わり、治安が悪くなる気がする。県外からUターンする人の受け入れを積極的に増やして欲しい。
男性	30歳～39歳	砺波市は地域のイベント・行事が多すぎるように思います。平日、休日を含め、地域の行事には自由参加ではなく必須となっており、それが「住みにくい」というイメージにつながっています。環境は良いとは思いますが、生活するには何となく心に余裕が持てないところのように感じます。
女性	30歳～39歳	もっと外部者の意見を取り入れるべき。閉鎖的すぎる。
男性	29歳以下	もっと明るい雰囲気がほしい。
男性	60歳～69歳	自分さえよければの根性を改める。もっと各人、協力すること。市民も役人ももっと話し合うこと。

■その他

男性	29歳以下	アンケートの結果は教えてもらえますか。砺波市のまちづくり期待しています。頑張ってください。
女性	70歳以上	嫁の権利が大きくて、親は何なのかといたい。